

DIGITAL CAMERA
FinePix 700



使用説明書

このたびは、弊社製品をお買上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルム デジタルカメラファインピックス700の使い方がまとめられています。内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

お買上げになってすぐにカメラをお使いになりたいときは、「使いかた早わかり」(➡P18)をご覧ください。

はじめに

■スマートメディアについて

●スマートメディアの持ち運びや保管時には、静電気の影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。
●静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合は、いったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

■液晶について

●液晶モニターや液晶表示パネルが破損した場合、中の液晶には充分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
• 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水を流し、石けんでよく洗浄してください。
• 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
• 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について

● Macintosh は、Apple Computer, Inc.の商標です。
● MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
●その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

●本カメラは第 2 種情報処理装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しています。しかし本カメラをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。
使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤動作の原因となることがあります。

安全上のご注意

はじめに

●ご使用の前に必ず使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、AC パワーアダプターや、その他アクセサリーなどの接続機器の「使用説明書」、特に「安全上のご注意」をあわせて必ずお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。絶対に従ってください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、機器の外側が異常に熱くなる、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源(電池やACパワーアダプター)を取り外してください(ACパワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください)。煙が出なくなるのを確認してお買上げ店またはお近くのフジサービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

●万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源を切り、電源(電池やACパワーアダプター)を取り外して(ACパワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて)、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本機の電源を切り、電源(電池やACパワーアダプター)を取り外して(ACパワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて)、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



⚠警告

●万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、本機の電源を切り、電源(電池やACパワーアダプター)を取り外して(ACパワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて)、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●ぐらついたテーブルの上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



水濡れ禁止

●この機器のスマートメディアホルダーなどから内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

●この機器のケースは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はお買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご依頼ください。


分解禁止

●風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


風呂、シャワー室での使用禁止

●AC パワーアダプターを使用している場合は、雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。


接触禁止

●歩行中や自動車・オートバイ・自転車などの運転中は、絶対に本機の操作をしたり、液晶モニターや光学ファインダーをのぞいたりしないでください。転倒、交通事故などの原因となります。



●電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス端子⊖の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



はじめに

⚠ 警告

●電池をハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。電池の破裂、発熱、火災の原因となります。



●この機器には、指定の電池または専用の AC パワーアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となります。



⚠ 注意

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



●本機や AC パワーアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。



⚠ 注意

●移動させる場合は、電源を切り(AC パワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて)、機器間の接続コードやケーブルなどを外したことをご確認の上、行ってください。コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となることがあります。



●お手入れの際は、安全のため電源(電池やAC パワーアダプター)を取り外して(AC パワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて)行ってください。感電の原因となることがあります。



●旅行などで長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため電源(電池や AC パワーアダプター)を取り外して(AC パワーアダプターを使用している場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて)ください。火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

●2 年に一度くらいは内部の掃除をお買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご相談ください。この機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用についてはお買上げ店またはお近くのフジサービスステーションにご相談ください。



●指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



●目の近くでストロボを発光しないでください。一時的な視力障害の原因となることがあります。



●小児が使用する際には、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。ケガの原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池の液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池入れについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



目次

お買上げになってすぐにカメラをお使いになりたいときは、「使いかた早わかり」(➡P18)をご覧ください。

ご使用の前に

■ 撮影の前には試し撮りを
大切な撮影(結婚式や海外旅行など)をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等)については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたイメージメモリーカード(スマートメディア)の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 電源について
本機をお使いになるには、充電式バッテリー NP-100(付属または別売)、または専用の AC パワーアダプター AC-5V(付属)を使用してください。

■ AC パワーアダプターについて
デジタルカメラ ファインピックス(FinePix)700 には、必ず専用の AC パワーアダプター AC-5V(別売品、EIAJ 規格・極性統一形プラグ付き)をお使いください。AC-5V 以外の AC パワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。

■ 使用できるスマートメディアについて
メモリーカードは、必ず弊社製のイメージメモリーカード(スマートメディア)をお使いください。ファインピックス700 では 5V、3.3V どちらのスマートメディアもご使用になれます。

■ 製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中(ファインダーランプが橙色点灯中)にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ レンズ面の汚れについて
レンズ面が指紋、ゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が充分に発揮できません。レンズ面の汚れは、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。

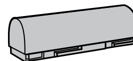
■ カメラで再生できるデータについて
本機(デジタルカメラ ファインピックス700)で記録した画像データ、またはパソコンから転送した画像データ(ファイル名「DSC00001.JPG～DSC99999.JPG」(Exif-JPEG 形式)、ファイル容量 1.2MB まで)を再生できます。その他のご注意については P60 をご覧ください。

■ 液晶モニターについて
液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

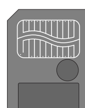
付属品

本機をお使いになる前にお確かめください。

- **充電式バッテリー NP-100(1 本)**
  付属品：使用説明書(1 部)



- **イメージメモリーカード (SmartMedia)：お試し用 2MB(1 枚)**

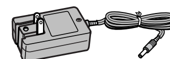


付属品
- 静電気防止ケース(1 個)
- インデックスラベル(1 組)
- ライトプロテクトシール(1 組)
- 使用説明書(1 部)

- **ハンドストラップ(1 本)**



- **AC パワーアダプター AC-5V(1 台)**
  付属品：使用説明書(保証書付)(1 部)



- **ビデオケーブル(ミニ(φ 3.5mm)プラグ x ピンプラグ、約 1.5m)(1 本)**



- **使用説明書(本書、1 部)**
- **保証書(1 部)**

■ 用語解説

ATA カード：	PC Card Standard ATA に準拠した PC カード(TYPE II)。
Exif ファイル形式：	Exif(Exchangeable Image File Format)は、JEIDA 電子スチルカメラ WG にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。JPEG に準拠したフォーマットで、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。
JEIDA：	Japan Electronic Industry Development Association (日本電子工業振興会)の略。
JPEG (Joint Photographic Experts Group) 形式：	ITU-T(旧 CCITT：国際電信電話諮問委員会)と ISO(国際標準化機構)で制定され国際標準規格となっている、カラーの画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長(画像の復元)したときの画質は劣化します。
PC カード：	PC Card Standard に適合するカードの総称。
PC Card Standard：	JEIDA／PCMCIA で定めた PC カードの規格。
PCMCIA：	Personal Computer Memory Card International Association(米国)の略。
SmartMedia：	スマートメディア。SSFDC フォーラムで定められた新しい記録媒体の名称。別売の PC カードアダプター PC-AD2 を使うと、PC カード(TYPE II)としてお使いいただけます。

主な特長

● **高画質**
原色 150 万画素 CCD 使用により、高画質、高解像度(1280 × 1024 pixel(ピクセル))
ビデオ出力は水平解像度 480 本以上(再生時)

● **2 インチ低温ポリシリコン液晶モニター**
液晶モニター付きなので撮ったその場で確認。他の人にもすぐ見せられます。

● **小型軽量**
外形： 80 × 101 × 33mm
質量：約 245g(付属品、バッテリー、スマートメディアを含まず)

● **広範囲な撮影領域(マクロ撮影機能付き)**
• 標準：約 50cm 〜無限遠
• マクロ：約 9 〜約 50cm

● **使いやすい単焦点レンズ、オートフォーカス**
35mm カメラ換算で f=35mm
絞り(F3.2/F8)自動切り換え

● **ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
発光モード：オート(低照度時)／赤目軽減／強制発光／発光禁止

● **スマートメディア(SmartMedia)採用**
小型・軽量・高速・安価なスマートメディアを採用

● **画質(クオリティー)／コマの画素数(ピクセル)選択**
• 画質： FINE、NORMAL、BASIC
• 画素数： 1280 × 1024、640 × 480 pixel(ピクセル)

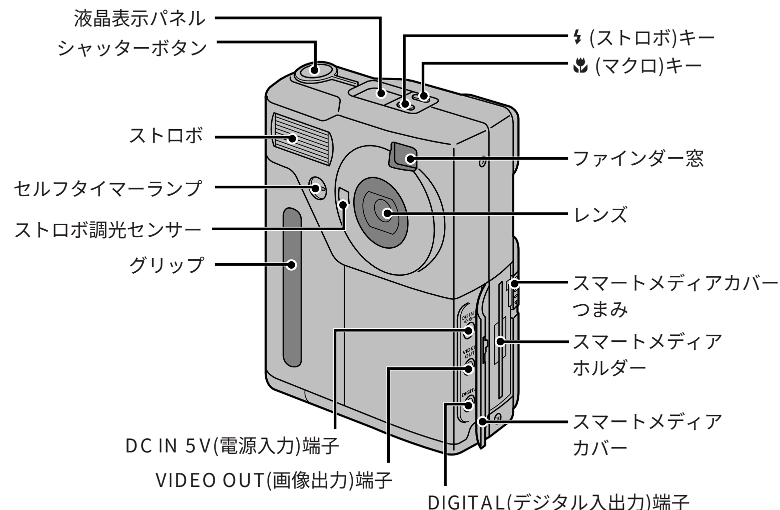
● **JPEG(Exif Ver.2.0)フォーマット**
JPEG 準拠のフォーマットで、パソコンのアプリケーションでそのまま利用可能
フロッピーディスクアダプター FD-A1(FlashPath ：フラッシュパス)や PC カードアダプター PC-AD2 を使えば、パソコンとの連携もさらに使いやすくなります。

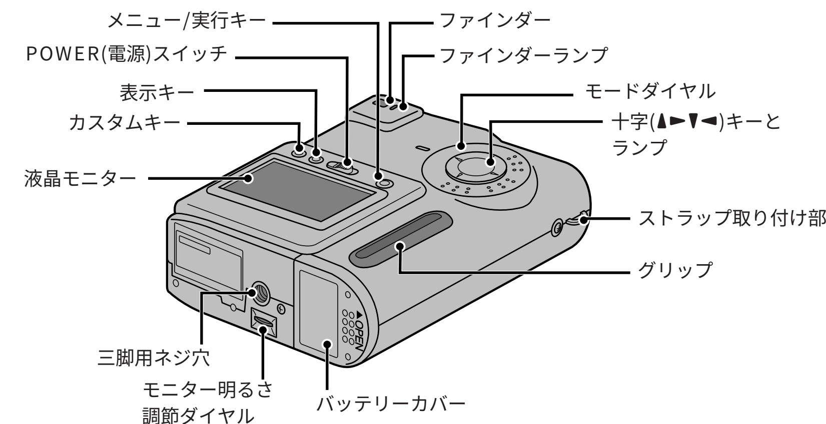
● **PC モード**
別売のインターフェースセット IF-CL/W3 (Windows95/Windows NT 4.0 用)、IF-CL/M3 (Macintosh 用)で、パソコンとの画像データ送受信が可能

● **撮影日時の記録・再生機能**
撮影日時を自動的に記録(モニターにも表示されます)

● **誰にでも使える簡単操作**

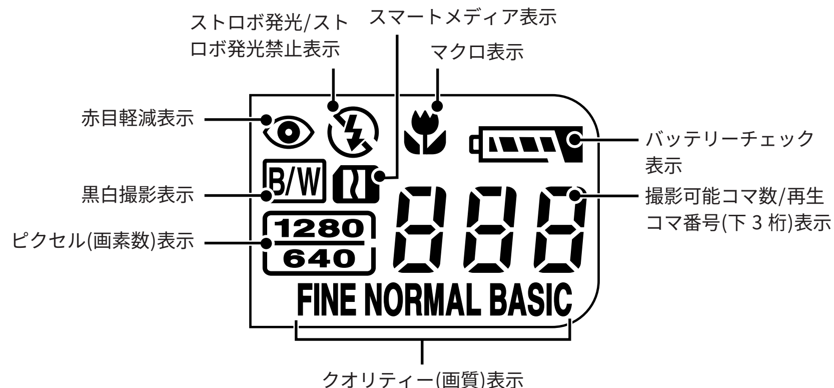
各部の名称



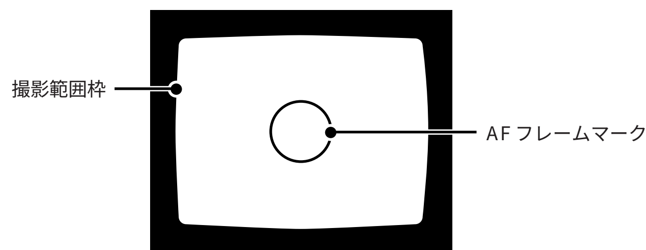


液晶表示パネル

この図は説明のため、全表示を点灯しています。通常の使用時に全表示が同時に点灯することはありません。



ファインダー内表示

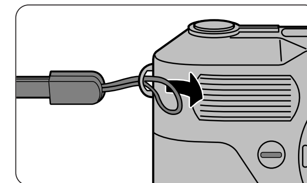


ハンドストラップの使いかた

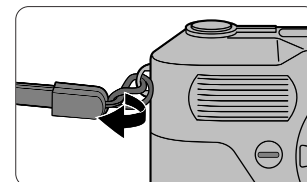
撮影中のカメラの落下を防止するため、ハンドストラップをお使いください。

取り付けかた

1 **ストラップ取り付け部に、ストラップの先端を通す**



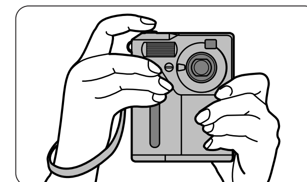
2 **ストラップ先端部にストラップを通し、引っ張る**



使いかた

1 **ストラップに手首を通す**

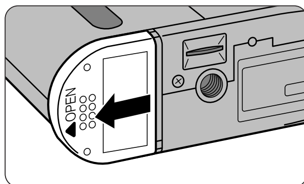
● 落下防止のため撮影時はストラップに手首を通してから、グリップ部をお持ちください。



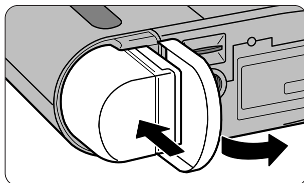
- お買上げになってすぐにカメラをお使いになりたいときは、以下の手順にしたがって操作してください。
- 使いかたについて詳しくは(➡Pxx)のページをご覧ください。

準備(バッテリー・スマートメディアの取り付け、スマートメディアのフォーマット)

1 バッテリーカバーを矢印方向にスライドさせる(➡P22)

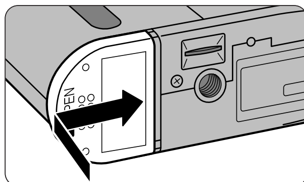


2 バッテリーを入れる

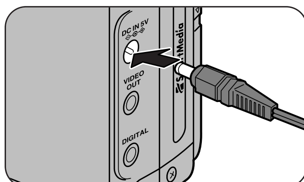


- バッテリーに表示されている[▶]を先頭にして入れます。
- バッテリーが止まるところまで、押し込みます。

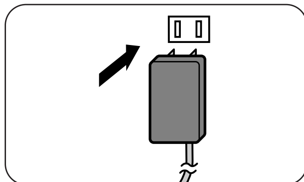
3 バッテリーカバーを閉める



4 AC パワーアダプターのプラグをカメラの DC IN 5V 端子に差し込む(➡P23)



5 AC パワーアダプターを電源コンセントに差し込む

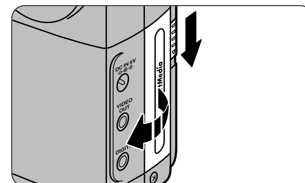


- 自動的に充電を開始します。
- 充電中はカメラのファインダーランプが橙色点灯します。充電完了すると消灯します。

ノート

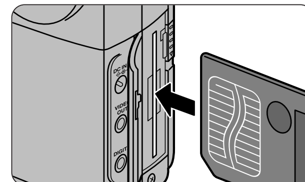
- バッテリーの充電時間は約 7 時間です。
- すぐにカメラをお使いになりたいときは、AC パワーアダプターを接続したまま操作してください。

6 スマートメディアカバーを開ける(➡P30)



- スマートメディアカバーつまみを矢印方向にスライドさせてから、指を離します。

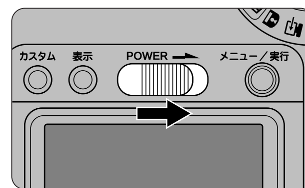
7 スマートメディアを入れる



- スマートメディアの電極部が、スマートメディアホルダーの金色ライン側(カメラの前面)になるようにして、ホルダーにゆっくり奥まで押し込みます。

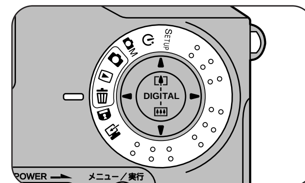
8 スマートメディアカバーを閉める

9 〈POWER〉スイッチをスライドさせる(➡P27)



- 矢印方向にスライドさせてから、指を離します。
- 十字(▲►▼◄)キーのランプが点滅しながら回転したあとで、オープニング画面が表示されます。

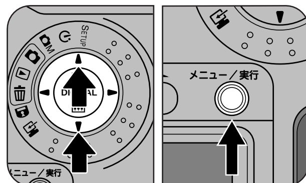
10 モードダイヤルを[🗑]にする(➡P65)

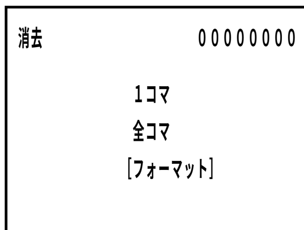


- メニュー画面が表示されます。
- スマートメディアのフォーマット(初期化)を行います。

11 〈▲〉〈▼〉キーで[フォーマット]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す

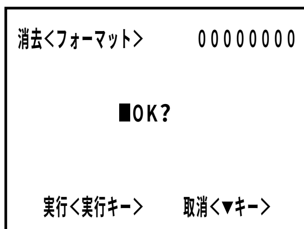
● 実行確認画面が表示されます。





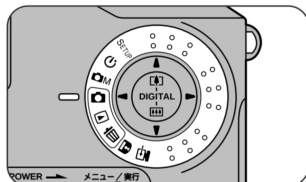
12 〈メニュー/実行〉キーを押す

● スマートメディアがフォーマットされて、メニュー画面に戻ります。

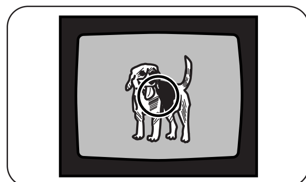


撮影(通常(オート)撮影)

1 モードダイヤルを[📷]にする(➡P37)



2 ファインダーをのぞき、被写体に AF フレームマークを合わせ、構図を決める

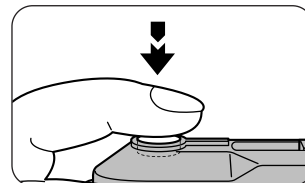


液晶モニターで見るには

〈表示〉キーを押します(➡P39)。

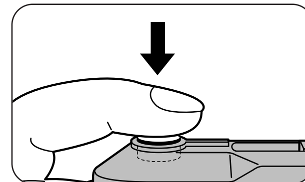
3 シャッターボタンを半押しする

● カメラが自動的にピント、露出を合わせます。ピントが合うとファインダーランプが緑色点灯します。



4 そのままシャッターボタンを全押しする

● ブザー音が鳴ったら撮影完了です。
● 画像データをスマートメディアへ記録中は、ファインダーランプが橙色点灯します。橙色点灯中は、撮影できません(約 5 秒間)。



● 記録が終わると、ブザー音が鳴り、液晶表示パネルの撮影可能コマ数が 1 コマ減ります。

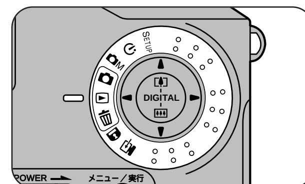
ご注意

記録中は絶対にスマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアまたはスマートメディアのデータが破壊されることがあります。

再生(1 コマ再生)

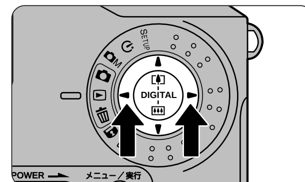
1 モードダイヤルを[▶]にする(➡P49)

● 記録されている最後のコマが再生されます。



2 〈◀〉、〈▶〉キーで再生したいコマに移動する

〈▶〉：1 コマ順送り
〈◀〉：1 コマ逆送り



テレビで見るには(➡P41)

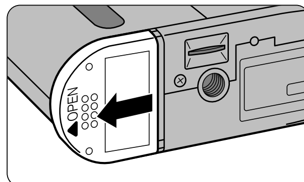
バッテリーを入れる

充電式バッテリー NP-100 を入れます。

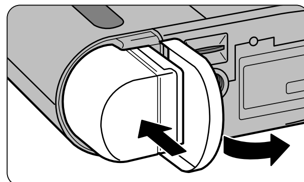
ご注意

- **出荷時、バッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってから交換してください。**
- **電源を切らずにバッテリーを取り出すと、日時設定は初期値に戻ります(➡P70)。**
- **バッテリー交換後は、日時設定をご確認ください(➡P70)。**

1 バッテリーカバーを矢印方向にスライドさせる

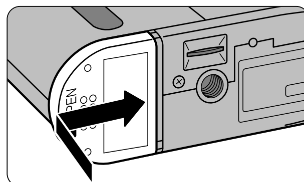


2 バッテリーを入れる



- バッテリーに表示されている[▶]を先頭にして入れます。
- バッテリーが止まるところまで、押し込みます。

3 バッテリーカバーを閉める



充電済みのバッテリーで連続して撮影できるコマ数

➡25 ページをご覧ください。

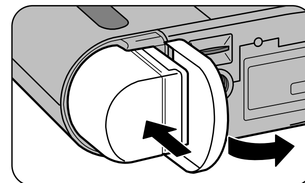
電池の消耗について

バッテリーが消耗してくると、液晶表示パネルのバッテリーチェック表示[ ]が点滅します。早めに充電済みのバッテリーと交換してください。
AC パワーアダプターかバッテリーチャージャー BC-100(別売)で充電してください。

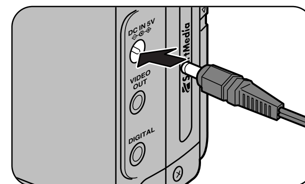
準備

バッテリーを充電する

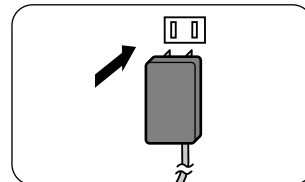
1 バッテリーをカメラに入れる



2 AC パワーアダプターのプラグをカメラの DC IN 5V 端子に差し込む



3 AC パワーアダプターを電源コンセントに差し込む



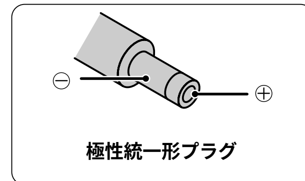
- 自動的に充電を開始します。
- 充電中はカメラのファインダーランプが橙色点灯します。充電完了すると消灯します。ファインダーランプ表示については「液晶モニター／ランプ表示／ブザー音について」(➡P35)をご覧ください。
- バッテリーの充電時間は約 7 時間です。

ご注意

- **AC パワーアダプターのプラグがカメラに正しく差し込まれていないと、充電されません。**
- **満充電に近いバッテリーは充電しませんが、故障ではありません。**
- **炎天下の車内など、+50 °Cを超える環境の場合、安全装置が働き、充電しなくなることがありますが、故障ではありません。**

AC パワーアダプターについて

ファインピックス700 には、必ず専用の AC パワーアダプター AC-5V(EIAJ 規格・極性統一形プラグ付き)をお使いください。AC-5V 以外の AC パワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ

準備

バッテリーについて

ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

取り扱いについてのご注意

このカメラは、充電式リチウムイオンバッテリーを使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。
＊NP-100 は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

●バッテリーの特性
- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前(1 〜 2 日前)に充電したバッテリーを用意してください。
- 寒冷地では、撮影できるコマ数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。

●充電について
- 付属の AC パワーアダプター AC-5V を使用して、本体で充電ができます。
  充電時間は約 7 時間です。
  別売のバッテリーチャージャー BC-100 を使用すると、約 2 時間 30 分でバッテリーを充電できます。
- このバッテリーは、充電の前に放電したり、使いきったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電は周囲の温度が 0 ℃〜＋ 40 ℃の範囲で可能ですが、バッテリーの性能を充分に発揮させるためには、約＋ 10 ℃〜＋ 30 ℃の範囲で充電してください。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

●バッテリーの寿命について
- 常温で使用した場合、300 回以上繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

●取り扱いについて

危険ですので、次のことにご注意ください。
- バッテリーの金属部分に、ほかの金属が触れないようにしてください。
- 火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

こわれたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水に濡らさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと、寿命が短くなります。

使用時のご注意

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプター(付属)をお使いください。

撮影可能コマ数について

■参考

連続撮影可能コマ数

	液晶モニター ON 状態	液晶モニター OFF 状態
バッテリー(NP-100)	約 80 コマ＊	約 250 コマ＊

＊バッテリーをフル充電した場合

- 常温でストロボ使用率 50%の場合の、連続して撮影できるコマ数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動はあります。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけ、こまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地では使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いの場合は、直接、バッテリーに触れないようにご注意ください。

バッテリーの容量について

撮影の前には、フル充電したバッテリーをカメラに入れてください。思わぬ失敗を防ぐため、バッテリーの容量は液晶表示パネルのバッテリーチェック表示で確認できます。

①撮影可能です。

② バッテリーの容量がなくなっています。
バッテリーチェック表示が点滅していたら、すぐにバッテリーを交換または充電してください。
＊チェック表示点滅のまま使い続けると、正常に動作しない場合があります。

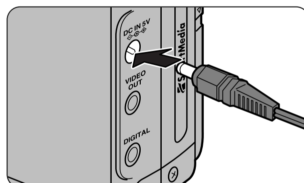
③バッテリーの容量がありません。
バッテリーを交換または充電してください。

① 点灯
② 点滅
③ 表示なし

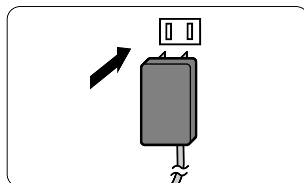
家庭用コンセントで使う

屋内などコンセントがある場所では、付属の専用 AC パワーアダプター AC-5V で撮影、再生ができます。
また、パソコンなどとの接続時にも、電池消耗による伝送の中断をさけるため、AC パワーアダプターを使用してください。

1 AC パワーアダプターのプラグをカメラの DC IN 5V 端子に差し込む



2 AC パワーアダプターを電源コンセントに差し込む

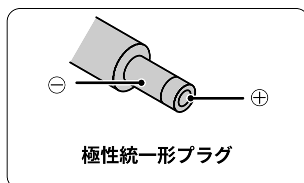


ご注意

- **AC パワーアダプターの接点部には、ほかの金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。**
- **DIGITAL 端子には差し込まないでください。故障の原因となることがあります。**
- **バッテリー動作中に AC パワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。**
- **AC パワーアダプター動作中にバッテリーを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。**
- **バッテリーが無い状態で AC パワーアダプターを抜くと日時の保持はしません。日時を設定し直してください(➡P70)。**
- **バッテリーが無い状態で AC パワーアダプターを差し込むと、ファインダーランプが赤色点滅することがありますが、故障ではありません。**

AC パワーアダプターについて

ファインピックス700 には、必ず専用の AC パワーアダプター AC-5V(EIAJ 規格・極性統一形プラグ付き)をお使いください。AC-5V 以外の AC パワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。

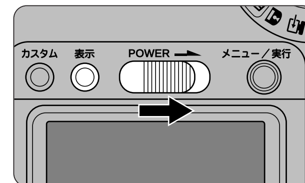


極性統一形プラグ

電源を入れる・切る

電源を入れる

1 〈POWER〉スイッチをスライドさせる



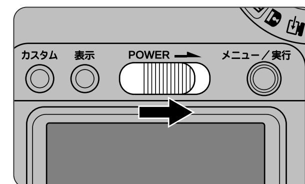
- 矢印方向にスライドさせてから、指を離します。
- 十字(▲►▼◄)キーのランプが点滅しながら回転したあとで、オープニング画面が表示されます。

ノート

- オープニング画面(2 画面)は、昼夜で変わります。
- 〈表示〉キーを押しながら電源を入れると、オープニング画面は表示されません。オープニング画面を再び表示するには、いったん電源を切り、〈表示〉キーを押しながら電源を入れてください。

電源を切る

1 〈POWER〉スイッチをスライドさせる



- 矢印方向にスライドさせてから、指を離します。

ご注意

- **長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出しておいてください。**
- **〈POWER〉スイッチが入ったままバッグやポケットに入れないでください。**

オートパワーオフ機能について

電池の消耗や、AC パワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、約 2 分間何の操作もしないと自動的に電源が切れます。

- 自動再生時(➡P51)や PC モード時(➡P85)は、オートパワーオフ機能は働きません。
- 〈メニュー/実行〉キーを押しながら電源を入れると、オートパワーオフ機能は働きません。電源を一度切ったあと、再度電源を入れるとオートパワーオフ機能が働きます。スルー動画(撮影前の動画)や連続再生状態が長く続くと、カメラ本体がかなり暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 2 分以上放置後の撮影ではストロボが発光せず、適正な画像が得られないときがありますので、ご注意ください。

準備

使用できるスマートメディア

スマートメディアは次のものが使用できます。

MG-2（2MB、5V）、MG-4S（4MB、3.3V）
MG-4（4MB、5V）、MG-8S（8MB、3.3V）

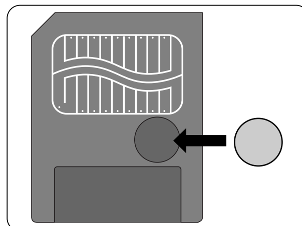
これらのスマートメディアは別売のPCカードアダプターPC-AD2を使うことにより、PC Card Standard ATAに準拠したPCカード(PCMCIA2.1/JEIDA4.2 TYPE II)になります。

ご注意

スマートメディアの使用説明書も、あわせて必ずお読みください。

誤記録防止について

大切なデータをうっかり消さないためには、ライトプロテクトシールをスマートメディアのライトプロテクトエリアに貼ってください(シールはライトプロテクトエリアからはみ出したり、浮きや剥がれのないように貼ってください)。記録・消去ができなくなります。
記録・消去するときは、シールを剥がします。



ご注意

- **シールが汚れていると誤記録防止が機能しない場合があります。かわいた柔らかい布などで、汚れをふいてください。**
- **フロッピーディスクアダプターFD-A1(FlashPath：フラッシュパス)では、スマートメディアの誤記録防止機能は働きません。**

新しいスマートメディアを使うときは

●スマートメディアのフォーマット(初期化)

新しいスマートメディアに記録する場合は、必ずこのカメラでスマートメディアをフォーマット(➡P65)してください。

フォーマットとは

スマートメディアの内部を、データを記録する(書き込む)ための形(フォーマット)に整えることです。

スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意(➡P87)

スマートメディアについてのご注意

●データ保持について

- 以下の場合、記録したデータが消滅(破壊)することがあります。記録したデータの消滅(破壊)については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
  - お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
  - スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
  - スマートメディアに記録動作中・消去(フォーマット)動作中・再生時のコマ送り中にスマートメディアカバーを開けたり、スマートメディアを取り出したり電源を切ったとき
- 大切なデータは別の記録メディア(MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど)にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

●取り扱い上のご注意

- スマートメディアの記録中・消去(フォーマット)中・再生時のコマ送り中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面(コンタクトエリア)にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは、かわいた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- 撮影や再生モードで長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが暖かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合は、いったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

準備

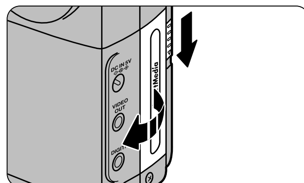
スマートメディアを入れる・取り出す

スマートメディアは必ず電源を切った状態で出し入れしてください。

スマートメディアを入れる

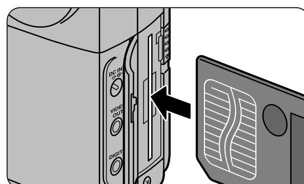
このカメラは、撮影した画像をスマートメディアに記録します。

1 スマートメディアカバーを開ける



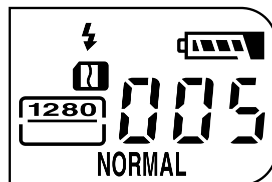
- スマートメディアカバーつまみを矢印方向にスライドさせてから、指を離します。

2 スマートメディアを入れる



- スマートメディアの電極部が、スマートメディアホルダーの金色ライン側(カメラの前面)になるようにして、ゆっくり奥まで押し込みます。

3 スマートメディアカバーを閉める



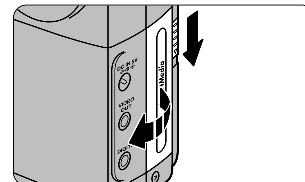
- 電源を入れると、カメラ上部の液晶表示パネルにスマートメディア表示[▯]が現れます。
- ファインダーランプが赤色点滅したときは、液晶モニターに警告表示が現れます。P91をご覧ください。

ご注意

- **新しいスマートメディアを使うときは、必ずこのカメラでフォーマットしてからお使いください(➡P65)。**
- **本書の「スマートメディアについて」(➡P28)も、あわせて必ずお読みください。**
- **下記の場合には電源を切り、スマートメディアの電極部を清掃してから入れ直してください。**
  - 液晶モニターに[▲CARD ERROR]が表示された。
  - 記録されたスマートメディアの画像が表示されない。
  - 液晶表示パネルの撮影可能コマ数表示が[– – –]になった。

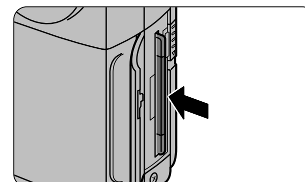
スマートメディアを取り出す

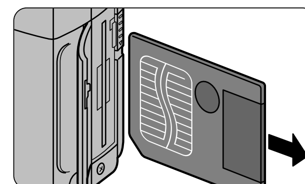
1 スマートメディアカバーを開ける



- スマートメディアカバーつまみを矢印方向にスライドさせてから、指を離します。

2 スマートメディアを取り出す





- スマートメディアを、一度ゆっくりと奥まで押し込んでから、取り出します。

3 スマートメディアカバーを閉める

ご注意

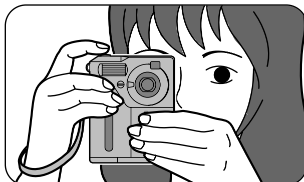
- **画像の記録中または読み出し中は、絶対にスマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアまたはスマートメディアのデータが壊れることがあります。**
- **長時間使用しない場合は、スマートメディアを取り出しておいてください。**
- **画像を別のスマートメディアにコピーする場合(➡P56)は、電源を切らずにスマートメディアを出し入れしてください。**

カメラの構えかた

手ブレを防ぐために、カメラが動かないようしっかり構えて撮影します。

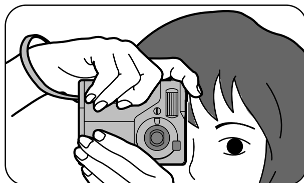
よこ位置

両手でカメラを持ち、脇をしっかりしめて、構える



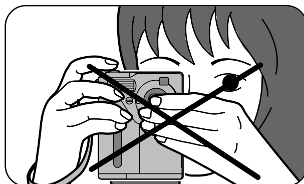
たて位置

ファインダー窓がストロボの下になるように構える



ご注意

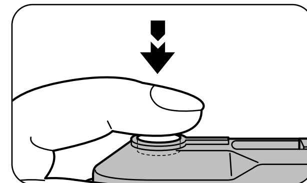
レンズ部やストロボ発光部に、指やストラップがかからないようにしてください。



シャッターボタンの押しかた

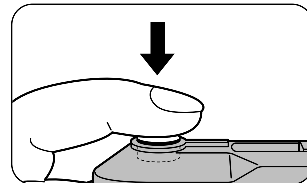
このカメラのシャッターボタンは、**2 段階**になっています。シャッターボタンを軽く押して途中で止めることを「半押し」と呼びます。半押しから、さらに押し込むと、シャッターが切れて撮影されます。

1 半押し(軽く押す)：



- AF(オートフォーカス：自動ピント合わせ)・AE(自動露出制御)などが、作動し始めます。
- AF・AE ロックします。
- ファインダーランプが緑色点灯します。

2 全押し(半押しから、さらに押し込む)：



- 撮影されます。
- **ブザー音が鳴ったら、撮影完了です。**

ご注意

- **シャッターボタンを押すときカメラが動くと、写真がブレる原因となります。**
- **カメラは両手でしっかりと持ってください。**

AF・AE ロックとは

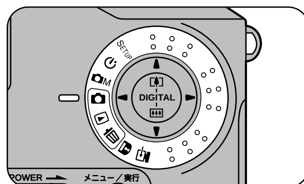
このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定(AF・AE ロック)します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合(逆光下の撮影など)には、AF・AE ロックをしてから、構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

オートフォーカスの苦手な被写体

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。

- 高速で移動する被写体
- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- コントラスト(明暗の差)が極端に低いとき
- 髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- ガラス越しの被写体
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)
- 被写体が遠くて暗いとき
- 被写体の手前や後方に物体が共存するとき(オリの中の動物や木の前の人物など)

モードダイヤルは、切り換えることによって以下のような働きをします。



[SETUP]：　**セットアップモード(➡P66)**
クオリティー(画質)、ピクセル(画素数)、シャープネス、カラー、コマNo.メモリー、ビープ(ブザー)音、日時の設定ができます。また、〈カスタム〉キーの設定もできます。

[⏱]：　**セルフタイマー撮影モード(➡P72)**
約10秒のセルフタイマー撮影ができます。

[📷M]：　**マニュアル撮影モード(➡P73)**
撮影画を確認したあとに、記録できます。また、明るさ、ストロボの明るさ、白バランスの設定をしたり、マルチREC(連続撮影)もできます。

[📷]：　**通常(オート)撮影モード(➡P36)**
撮影状況に応じて露出(シャッタースピードと絞り値の組み合わせ)とピント(フォーカス)を、カメラが自動的に制御する、簡単で使いやすい撮影方法です。特別な撮影意図のない、一般的な撮影に最適です。

[▶]：　**再生モード(➡P48)**
通常の1コマ再生の他にマルチ再生、オートプレイ(自動再生)、再生ズーム、画像コピーができます。また、撮影画を美肌化、リサイズ(画素数変更)、セピア色にできます。

[🗑]：　**消去モード(➡P61)**
1コマ消去、全コマ消去、スマートメディアのフォーマット(初期化)ができます。

[🔒]：　**プロテクトモード(➡P82)**
1コマのプロテクト(画像の保護)、1コマまたは全コマのプロテクト解除ができます。

[🖳]：　**PCモード(➡P85)**
パソコンに画像を取り込むとき、またはパソコンを使ってスマートメディアに画像を記録したり、消去するときに使用します。

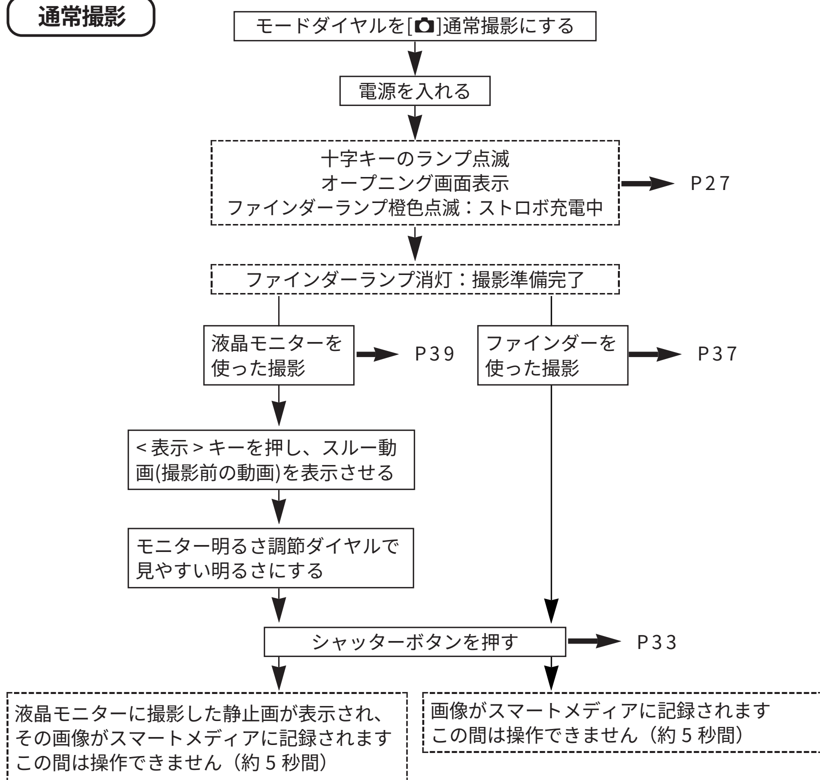
〈表示〉キーを押すと、液晶モニターの表示(オンスクリーン表示)が変わります。

モードダイヤルの状態	液晶モニターの表示(オンスクリーン表示)
[⏱]：セルフタイマー撮影モード	すべてOFF（初期状態）→ スルー動画*＋オンスクリーン表示 →（戻る） ＊スルー動画とは撮影前の動画のことです。
[📷M]：マニュアル撮影モード	オンスクリーン表示（初期状態）→ スルー動画＋オンスクリーン表示 → スルー動画 →（戻る）
[📷]：通常撮影モード	すべてOFF（初期状態）→ スルー動画＋オンスクリーン表示 → スルー動画 →（戻る）
[▶]：再生モード	1コマ再生画+オンスクリーン表示（初期状態）→ 1コマ再生画 → マルチ再生画+オンスクリーン表示 → マルチ再生画 →（戻る）
[🗑]：消去モード [🔒]：プロテクトモード	1コマ再生画＋メニュー表示（初期状態）→ マルチ再生画＋メニュー表示 →（戻る）
[🖳]：PCモード	オンスクリーン表示（初期状態）→ オンスクリーン表示OFF →（戻る）

操作によって、ファインダーランプ表示とブザー(ビープ)音が以下のように変わります。

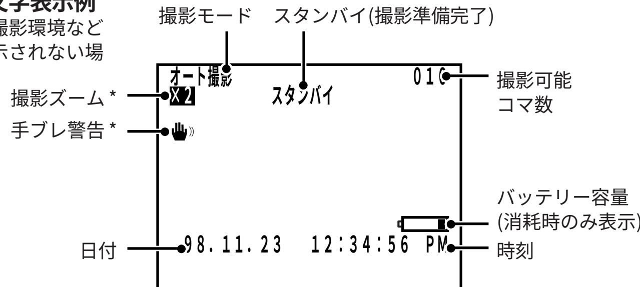
ファインダーランプ表示 色	状態	内容	ブザー(ビープ)音
緑	点灯	撮影準備完了(AF・AE)完了	————
	点滅	撮影注意(手ブレ警告など)	————
橙	点灯	スマートメディアに記録中	————
		バッテリー充電中	————
		セルフタイマー(➡P72)動作中	————
		プレビュー画(➡P74)表示中	————
	点滅	ストロボ充電中	————
赤	点滅	スマートメディア警告 ＊液晶モニターで警告内容が確認できます(➡P91)。	ピッピッピッピッ(シャッターを切ったとき)
		その他の警告(液晶表示パネルの撮影可能コマ数表示が[Err]、➡P91)	ピッピッピッピッ(シャッターを切ったとき)
		バッテリーが無い状態でACパワーアダプターを差し込んだ(➡P26)。	————

準備



液晶モニターの文字表示例

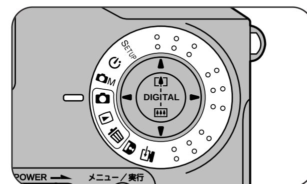
＊印は、モードや撮影環境などの違いにより、表示されない場合もあります。



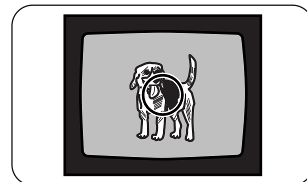
通常撮影モードは、撮影状況に応じて露出(シャッタースピードと絞り値の組み合わせ)とフォーカスをカメラが自動的に制御する、簡単で使いやすい撮影方法です。特別な撮影意図のない、一般的な撮影に最適です。
バッテリーの消耗を少なくするためには、ファインダーを使って撮影することをおすすめします。
撮影される画像とファインダーで見える画像の構図には差がありますので、正確に構図を決めたい場合は、液晶モニターを使って撮影することをおすすめします。

ファインダーを使った撮影

1 モードダイヤルを[ ]にする

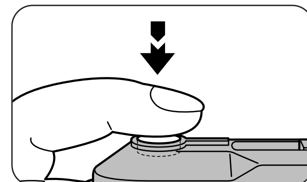


2 ファインダーをのぞき、被写体にAFフレームマークを合わせ、構図を決める



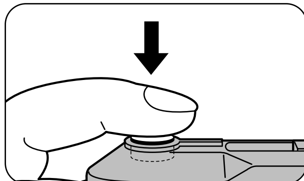
- 被写体が画面の中央にない場合は、AFロック(➡P33)を使います。
- 〈カスタム〉キーを押すと、設定を変えて撮影できます(➡P42)。

3 シャッターボタンを半押しする



- カメラが自動的にピント、露出を合わせます。ピントが合うとファインダーランプが緑色点灯します。
- 約50cm～無限遠の被写体にピントが合います。50cmより近い被写体はマクロ(近距離)撮影してください(➡P45)。
- シャッターボタンについてはP34をご覧ください。

4 そのままシャッターボタンを全押しする



- ブザー音が鳴ったら撮影完了です。
- 画像データをスマートメディアへ記録中は、ファインダーランプが橙色点灯します。橙色点灯中は、撮影できません(約 5 秒間)。
- 記録が終わると、ブザー音が鳴り、液晶表示パネルの撮影可能コマ数が 1 コマ減ります。

ノート

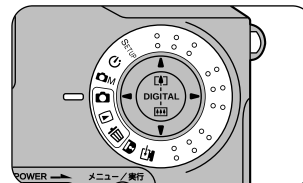
被写体(画像の細かさなど)によっては、記録後の撮影可能コマ数が減らない場合があります。記録されるデータ量が一定ではないためです。

ご注意

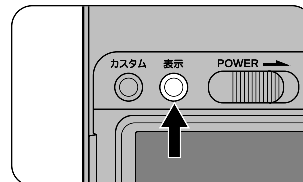
記録中は絶対にスマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアまたはスマートメディアのデータが破壊されることがあります。

液晶モニターを使った撮影

1 モードダイヤルを[ ]にする

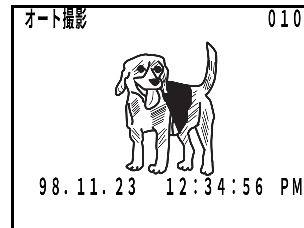


2 〈表示〉キーを押す



- 液晶モニターにスルー動画(撮影前の動画)が表示されます。
- 〈表示〉キーについては、P35 をご覧ください。
- 〈カスタム〉キーを押すと、設定を変えて撮影できます(➡P42)。

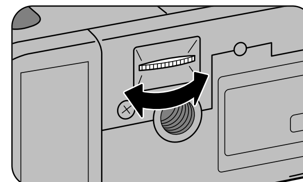
3 液晶モニターを見ながら構図を決める



ノート

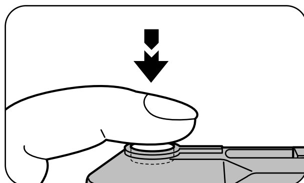
液晶モニターが見にくい場合は、カメラ底部のモニター明るさ調節ダイヤルで液晶モニターの明るさを調節してください。

＊モニター明るさ調節ダイヤルは、記録される画像の明るさを調節するものではありません。



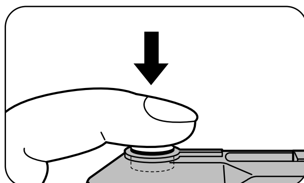
基本編

4 シャッターボタンを半押しする



- カメラが自動的にピント、露出を合わせます。このとき表示されていた画像が消えます。ピントが合うと画像が表示され、液晶モニターに[スタンバイ]が表示されます。ファインダーランプが緑色点灯します。
- 約50cm～無限遠の被写体にピントが合います。50cmより近い被写体はマクロ(近距離)撮影してください(➡P45)。
- シャッターボタンについてはP33をご覧ください。
- 手ブレマーク[ ]が表示されたときは、操作をやり直してください。

5 そのままシャッターボタンを全押しする



- ブザー音が鳴ったら撮影完了です。
- 画像データをスマートメディアへ記録中は、ファインダーランプが橙色点灯します。橙色点灯中は、撮影できません(約5秒間)。
- 記録が終わると、ブザー音が鳴り、液晶モニターの撮影可能コマ数が1コマ減ります。

ノート

- ファインダーを使用したほうがバッテリーを消耗せず、より長く撮影が可能になります。
- 撮影画を確認した場合に、ピントが合っていないときは、コントラスト(明暗の差)のある被写体でAFロック(➡P33)してから再撮影してください。
- 液晶モニターは、正面から見るようにしてください。
- 手ブレをなくすため、カメラをしっかりと持ってください。
- 被写体(画像の細かさなど)によっては、記録後の撮影可能コマ数が減らない場合があります。記録されるデータ量が一定ではないためです。

ご注意

記録中は絶対にスマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアまたはスマートメディアのデータが破壊されることがあります。

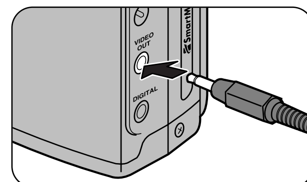
テレビを使った撮影・再生

テレビを使って撮影したり画像を再生する場合は、あらかじめ、カメラとテレビを接続しておきます。
屋内などコンセントがある場所では、付属のACパワーアダプターAC-5Vをご使用ください。

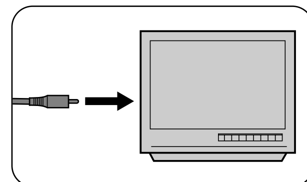
ご注意

機器の接続を行うときは、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

1 電源をOFFにし、ビデオケーブル(付属)の小さいプラグをカメラのVIDEO OUT端子に接続する



2 ビデオケーブルの大きいプラグをテレビの映像入力端子に接続する



3 撮影（再生）する

- 撮影の方法はP36、再生の方法はP48をご覧ください。
- [ ]、[ ]、[M]の撮影モードでスルー動画(撮影前の動画)を出力するときは、〈表示〉キーを押します。

ノート

スルー動画(撮影前の動画)は、再生画像などと比べると、いくらか不鮮明になります(解像度が低くなります)。

基本編

カスタムキーについて

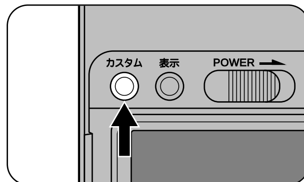
カスタム設定をしておくと、撮影時に〈カスタム〉キーを押すだけで、[SETUP]のカスタム設定で設定した機能の設定内容に変えて撮影できます(➡P69)。

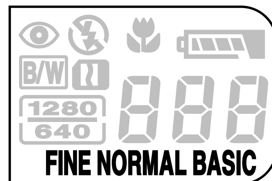
クオリティー(画質)

[FINE]、[NORMAL]、[BASIC]のいずれかを選べます(➡P67)。

1 〈カスタム〉キーを押す

● 設定に合わせて、液晶表示パネルに[FINE]、[NORMAL]、[BASIC]のいずれかが表示されます。



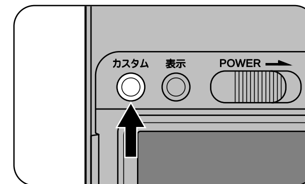


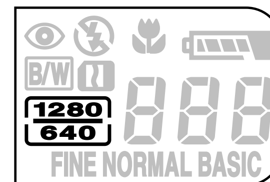
ピクセル(画素数)

[1280]と[640]のいずれかを選べます(➡P67)。

1 〈カスタム〉キーを押す

● 設定に合わせて、液晶表示パネルに[1280] (1280×1024 pixell (ピクセル))、[640] (640×480 pixel (ピクセル))のいずれかが表示されます。



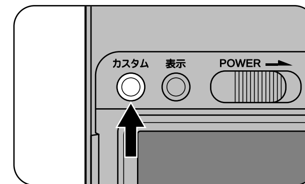


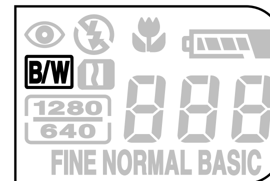
カラー

[カラー]と[黒白]のいずれかを選べます(➡P68)。

1 〈カスタム〉キーを押す

● [黒白]を選ぶと、液晶表示パネルに[B/W]が表示されます。





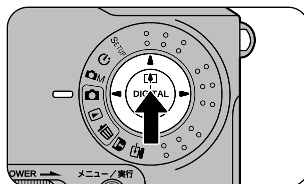
ズーム撮影

デジタルズーム撮影機能を使うと、画面中央部分を 2 倍に拡大して、焦点距離を見かけ上 2 倍（35mm カメラ換算で約 70mm）にします。

ノート

ズーム撮影機能は、液晶モニターを使った撮影(➡P39)でのみ有効です。

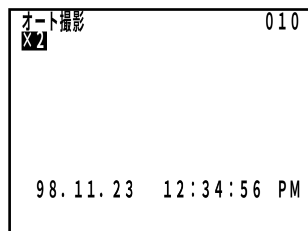
1 〈▲〉( )キーを押す



● 液晶モニターに[X2]表示が現れ、画面中央部分が 2 倍に拡大されます。

2 液晶モニターを見ながら構図を決めて、撮影する

● 撮影の方法は P39 をご覧ください。



ズーム撮影をやめるには

〈▼〉( )キーを押します。

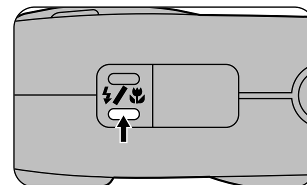
ノート

- 画素数は 640 × 480 pixel (ピクセル)に固定されます。ただし液晶表示パネルのピクセル(画素数)表示は変化しません。画面中央が拡大されるので、画像が粗くなります。
- 電源を切るか、〈表示〉キーを押して液晶モニターを OFF にするか、オートパワーオフが働くと、ズーム撮影機能は自動で解除されます。

マクロ(近距離)撮影

マクロ(近距離)撮影機能を使うと、約 9 〜 50cm までの近距離撮影ができます。

1 〈 〉(マクロ)キーを押す



● 液晶モニターの画面にスルー動画(撮影前の動画)が表示されます。
● 液晶表示パネルに[ ]が表示されます。

2 液晶モニターを見ながら構図を決めて、撮影する

● 撮影の方法は P39 をご覧ください。

マクロ撮影をやめるには

〈 〉(マクロ)キーを押します。

ノート

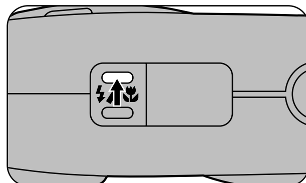
- ストロボは強制発光(➡P46)に設定時のみ、発光します。
- 電源を切るか、〈表示〉キーを押して液晶モニターを OFF にするか、オートパワーオフが働くと、マクロ撮影機能は自動で解除されます。
- 〈表示〉キーを押すと、画面表示が切り換わります(➡P35)。ただしマクロ撮影の場合、ファインダーで確認した画像と撮影した画像の画角(画像の撮影範囲)が合わなくなります。液晶モニターを使うと、撮影する画像がそのままモニターに表示されますので、液晶モニターを見ながら撮影することをおすすめします。または[カメラM]マニュアル撮影モード(➡P73)で、撮影画像を確認してから、記録することをおすすめします。

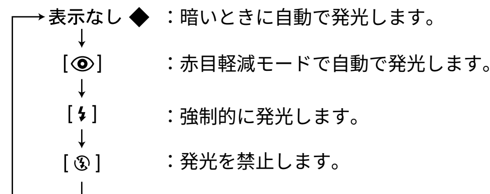
ストロボ撮影

写したいものや撮影場所に合わせて、ストロボを発光させたり、発光を禁止させたりできます。◆印は初期設定です。

1 〈⚡〉(ストロボ)キーを押す

● 液晶表示パネルの表示が、下図のように切り換わります。





自動発光

暗いときや、逆光のとき、ストロボが自動的に発光します。

[👁] 赤目軽減

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボが１度プリ発光し、２回目に撮影のためのストロボが発光します。

赤目現象について

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。
これは、ストロボの光が目の網膜に反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするには、以下のことに注意して撮影してください。
1. 赤目軽減モードで撮影する
2. 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
3. なるべく近づいて撮影する

[⚡] 強制発光

必ずストロボを発光させるモードです。
逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影、夜景をバックにした人物撮影やマクロ撮影のときなどに使います。
＊ 夜景をバックにした人物を強制発光モードで撮影するときは、シャッター速度が遅くなりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

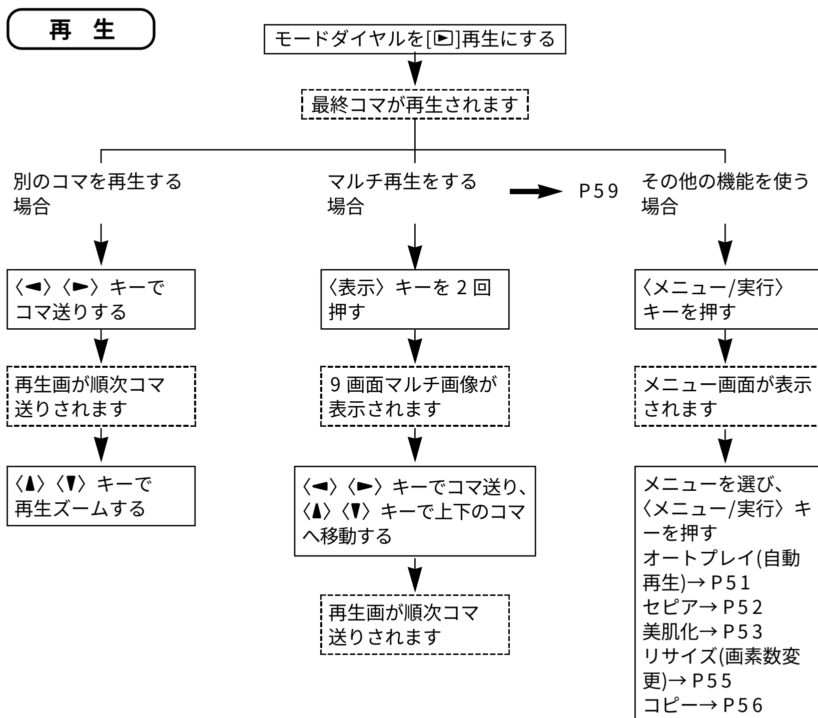
[⊘] 発光禁止

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
ストロボの発光を停止します。
＊ 暗い場所でストロボ発光禁止モードで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

ノート

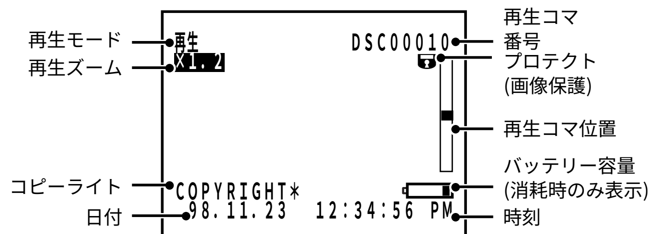
- [🌷]マクロ撮影(➡P45)のときは、強制発光に設定したときだけ、ストロボが発光します。
- 電源を切るかオートパワーオフが働くと、自動発光に戻ります。

再　生



液晶モニターの文字表示例

＊印は、モードや撮影環境などの違いにより、表示されない場合もあります。
[COPYRIGHT]は別売のインターフェースセットに付属のソフトウェアで、著作権情報を記録した画像のときに表示されます。詳しくは、ソフトウェアに付属の使用説明書をご覧ください。



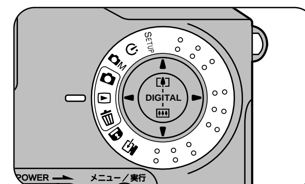
- 屋内などコンセントがある場所では、付属のACパワーアダプターAC-5Vをご使用ください。
- テレビで再生する場合は、P41をご覧ください。

1コマ再生

画質モードを自動判別し、1コマ順送り、逆送り再生ができます。

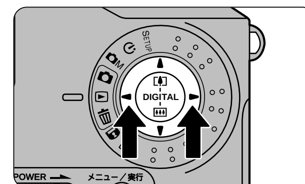
1 モードダイヤルを[▶]にする

● 記録されている最後のコマが再生されます。



2 〈◀〉、〈▶〉キーで再生したいコマに移動する

〈▶〉：1コマ順送り
〈◀〉：1コマ逆送り
● 未記録コマは飛び越して再生します。
● 記録されているコマがないときは[00000000]を表示します。



ノート

〈表示〉キーで、再生方法や再生中のコマ番号の表示／非表示が切り換わります。

1 コマ再生中には、以下の 6 つのことができます。
2 〜 6 はメニュー画面で設定します。

1. 再生ズーム
2. オートプレイ(自動再生)
3. セピア
4. 美肌化
5. リサイズ(画素数変更)
6. コピー

ご注意

- **スマートメディアの全コマに記録されている場合は、セピア、美肌化、リサイズは働きません。**
- **マルチ再生の状態では、セピア、美肌化、リサイズは働きません。**

再生ズーム

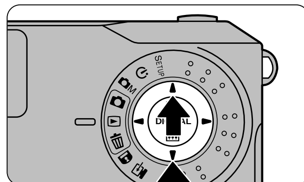
1 コマ再生中の画像を 1 〜 4 倍拡大して表示します。再生ズームは 1 コマ再生中のときにできます。

1 1 コマ再生の状態で、拡大したいコマを選ぶ

● 1 コマ再生の方法は P49 をご覧ください。

2 〈▲〉〈▼〉キーで拡大・縮小する

〈▲〉：拡大
〈▼〉：縮小
●〈カスタム〉キーを押しながら、十字〈▲►▼◄〉キーを押すと、ズーム位置を移動できます。



再生ズームをやめるには

〈◄〉〈►〉キーを押してコマ送りします。

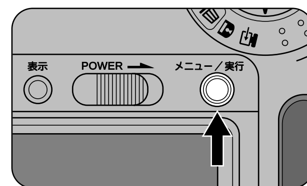
オートプレイ(自動再生)

自動で連続再生(約 3 秒間／ 1 コマ)を行います。

1 1 コマ再生の状態で、オートプレイする最初のコマを選ぶ

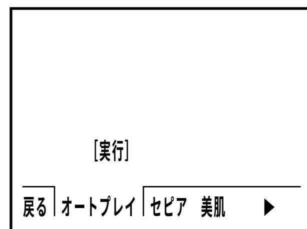
● 1 コマ再生の方法は P49 をご覧ください。

2 〈メニュー/実行〉キーを押して、メニュー画面にする



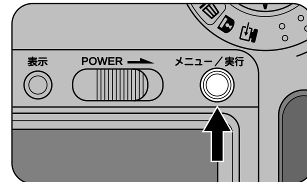
3 〈◄〉〈►〉キーで、[オートプレイ]を選ぶ

● [戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押すと、1 コマ再生に戻ります。



4 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 自動再生が始まります。



自動再生をやめるには

自動再生中に〈メニュー/実行〉キーを押します。

基本編

ノート

- 〈表示〉キーで、再生中のコマ番号の表示／非表示が切り換わります。
- マルチ再生中でも(➡P59)でも、自動再生できます。その場合、選択したコマからの再生となります。
- 自動再生中は、オートパワーオフ機能は働きません。

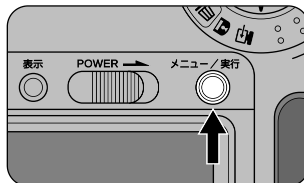
セピア

1 コマ再生中の画像をセピア(黒茶)色にできます。

1 **1 コマ再生の状態で、セピア色にしたいコマを選ぶ**

● 1 コマ再生の方法は P49 をご覧ください。

2 **〈メニュー/実行〉キーを押して、メニュー画面にする**



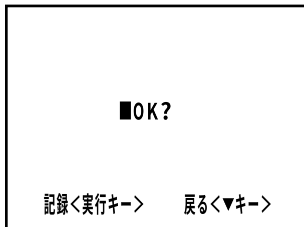
3 **〈◄〉〈►〉キーで、[セピア]を選ぶ**

● [戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押すと、1 コマ再生に戻ります。



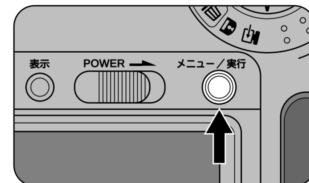
4 **〈メニュー/実行〉キーを押す**

● 記録をするかどうかを確認する画面が表示されます。
● セピア色の画像になります。
● 画像を記録しないときは、〈▼〉キーを押します。メニュー画面に戻ります。



5 **〈メニュー/実行〉キーを押す**

● セピア色の画像は、最後のコマに記録されます。なお、元の画像はそのまま残っています。



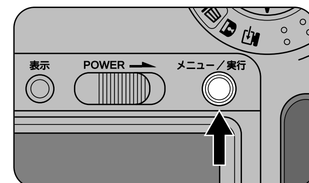
美肌化

1 コマ再生中の人物の画像の肌を白くしたり、黒くしたりできます。

1 **1 コマ再生の状態で、美肌化したいコマを選ぶ**

● 1 コマ再生の方法は P49 をご覧ください。

2 **〈メニュー/実行〉キーを押して、メニュー画面にする**



3 **〈◄〉〈►〉キーで、[美肌]を選ぶ**

● [戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押すと、1 コマ再生に戻ります。

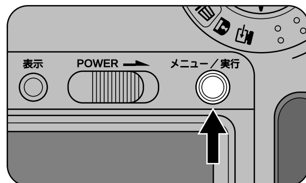


ご注意

背景などに肌色の物があると、それに対しても同じような効果が働く場合があります。

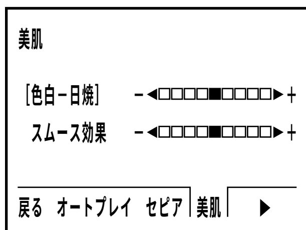
4 〈メニュー/実行〉キーを押す

● [色白-日焼]または[スムース効果]を設定する画面が表示されます。



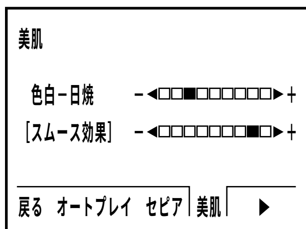
5 〈▲〉〈▼〉キーで[色白-日焼]または[スムース効果]を選ぶ

[色白-日焼]：肌の色を白くしたり黒くしたりできます。
[スムース効果]：肌をなめらかな感じにします。



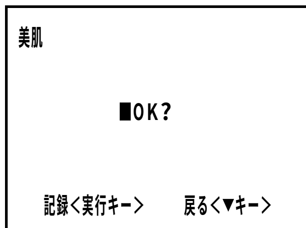
6 〈◄〉〈►〉キーで、[色白-日焼]または[スムース効果]の強弱を設定する

[色白-日焼]：〈◄〉色白にする
〈►〉日焼にする
[スムース効果]：〈◄〉肌を荒くする
〈►〉肌をなめらかにする



7 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 手順6で設定した効果がかかった画像になります。
● 画像を記録したいときは、〈メニュー/実行〉キーを押します。
画像は、最後のコマに記録されます。なお、元の画像はそのまま残っています。
● 画像を記録しないときは、〈▼〉キーを押します。メニュー画面に戻ります。



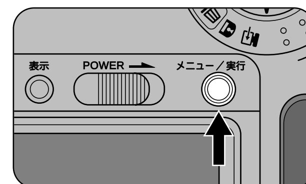
リサイズ(画素数変更)

1コマ再生中の1280×1024 pixel (ピクセル)の画像を640×480 pixelのサイズに変換(画素数変更)します。

1 1コマ再生の状態で、リサイズしたいコマを選ぶ

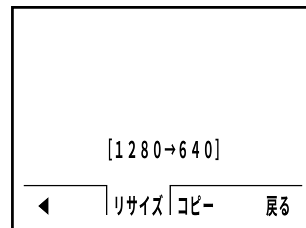
● 1コマ再生の方法はP49をご覧ください。

2 〈メニュー/実行〉キーを押して、メニュー画面にする



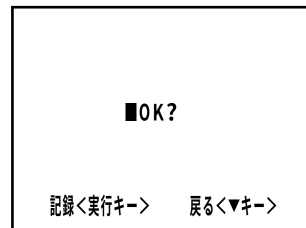
3 〈◄〉〈►〉キーで、[リサイズ]を選ぶ

● 640×480 pixelの画像の画素数変更はできません。[▲640]と表示されます。
● [戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押すと、1コマ再生に戻ります。



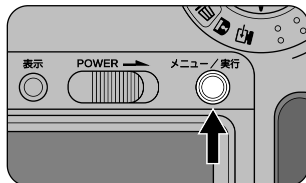
4 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 記録をするかどうかを確認する画面が表示されます。
● 画像を記録しないときは、〈▼〉キーを押します。メニュー画面に戻ります。



5 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 画像のサイズが変更されます。
● 画像は、最後のコマに記録されます。なお、元の画像はそのまま残っています。



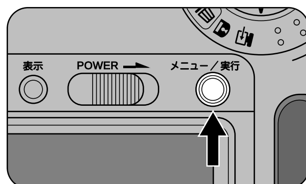
コピー

画像を別のスマートメディアにコピーできます。1 コマ再生時でもマルチ再生時でも操作できます。

1 1 コマ再生またはマルチ再生の状態にする

● 1 コマ再生の方法は P49 をご覧ください。
● マルチ再生の方法は P59 をご覧ください。

2 〈メニュー/実行〉キーを押して、メニュー画面にする



3 〈◄〉〈►〉キーで、[コピー]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す

● [戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押すと、再生画面に戻ります。

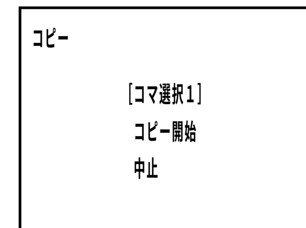


4 〈◄〉〈►〉キーでコピーしたい画像を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す



5 複数の画像をコピーしたい場合は、〈▲〉〈▼〉キーで[コマ選択 1]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す

● 手順 4 の画面に戻ります。コピーしたい画像の数だけ、手順 4 と 5 を繰り返します。
● 最大 9 画像まで同時にコピーできます。



ご注意

画質、画素数によっては、9 画像コピーできない場合があります。

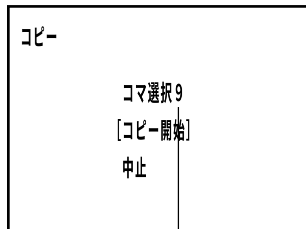
コピーをやめるには

• [中止]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押します。メニュー画面に戻ります。
• メニュー画面で[戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押します。再生画面に戻ります。

基本編

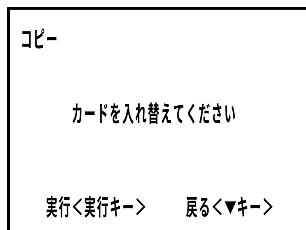
6 〈▲〉〈▼〉キーで、[コピー開始]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す

● コピーが始まります。



選択されたコマ数

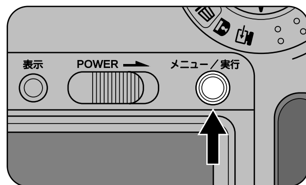
7 [カードを入れ替えてください]が表示されたら、カメラの電源を切らずにスマートメディアを取り出して、コピーしたいスマートメディアと入れ替える



8 〈メニュー/実行〉キーを押す

● コピーが完了し、メニュー画面に戻ります。

●メニュー画面で[戻る]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押します。再生画面に戻ります。



ご注意

- **コピー動作中([⌛]砂時計マーク点灯中)は、絶対にスマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアまたはスマートメディアのデータが壊れることがあります。**
- **同じスマートメディアにコピーした場合は、最後のコマに記録されます。**

ノート

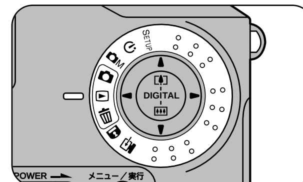
- コピー中は、オートパワーオフ機能は働きません。
- コピー中にエラーが発生した場合は、コピーをしないで再生画面に戻ります。

マルチ再生

一度に 9 画面の再生(マルチ再生)ができます。

1 モードダイヤルを[▶]にする

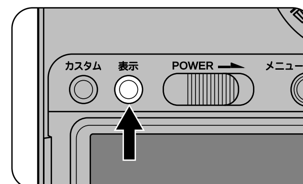
● 記録されている最後のコマが再生されます。



2 〈表示〉キーを 2 回押す

● 9 画面マルチ再生画になります。

● 画像のないコマは、黒い画面になります。



3 〈◄〉〈►〉〈▲〉〈▼〉キーで再生したいコマに移動する

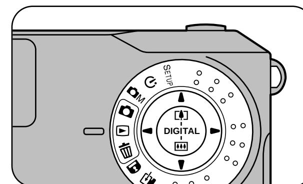
〈◄〉：1 コマ逆送り

〈►〉：1 コマ順送り

〈▲〉：3 コマ逆送り

〈▼〉：3 コマ順送り

● 選択されたコマは、白い枠で囲まれます。



ノート

〈表示〉キーで、再生方法や再生中のコマ番号の表示／非表示が切り換わります。

1 コマ再生に戻すには

- オンスクリーン表示状態では、〈表示〉キーを 2 回押します。
- オンスクリーン表示なし状態では、〈表示〉キーを押します。

基本編

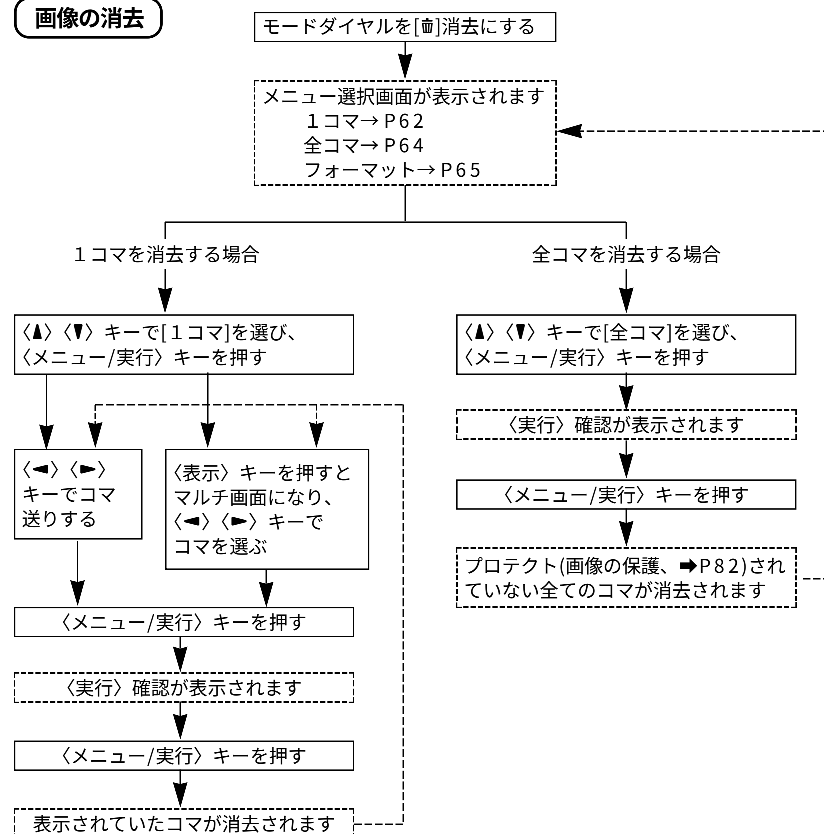
カメラで再生できるデータについて

本機(デジタルカメラ ファインピックス700)で記録した画像データおよび弊社製デジタルカメラ DS-7、DS-8、DS-10、DS-20、DS-30、DS-220、DS-300* で記録したスマートメディアの画像データ(Exif-JPEG 形式)の再生ができます。
上記のカメラで記録した画像データでもパソコンで加工・編集後、カメラやスマートメディアに再度転送記録した場合は、再生できないことがあります。
＊ DS-300 で Hi(非圧縮)モードで記録した画像はデジタルカメラ ファインピックス700 では再生できません。

ご注意

ファインピックス700 とやりとりできる画像データは Exif-JPEG 形式でファイル名は「DSC00001.JPG～DSC99999.JPG」のファイルに限られます。その他の名前のファイルは、転送できる場合でも、カメラの記録・再生動作に支障をきたすことがありますので、転送しないでください。またファイル名が上記の場合でもパソコン上で加工・編集後に転送記録された場合には再生できないことがあります。

画像を消去する



1 コマ消去、全コマ消去、またはスマートメディアのフォーマット(初期化)ができます。スマートメディアを初めてお使いになるときは、必ずフォーマットしてからお使いください。

ご注意

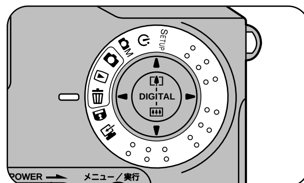
- **プロテクト(画像の保護)コマは 1 コマ、全コマ消去できません(➡P82)。**
- **スマートメディアのフォーマットを行うと全コマ消去されます。プロテクトコマ(➡P82)も消去されます。**
- **スマートメディアが誤記録防止状態の場合、消去もフォーマットもできません(➡P28)。**

1 コマ消去

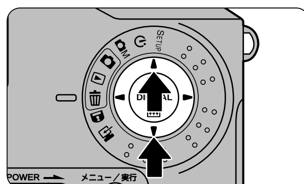
選んだ 1 コマが消去されます。

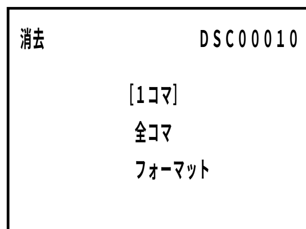
1 モードダイヤルを[🗑]にする

● メニュー画面が表示されます。



2 〈▲〉〈▼〉キーで[1 コマ]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す





3 〈◄〉〈►〉キーで消去する画像を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す

● 実行確認画面が表示されます。
●〈表示〉キーを押して、9 画面マルチ再生時と同様の操作でも選択できます(➡P35, 59)。



4 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 画像が消去されて、メニュー画面に戻ります。



ご注意

[⚠PROTECT]表示が現れた場合は、その画像は消去できません。

- そのコマの消去プロテクトを解除する場合：プロテクトモード(➡P82)でプロテクトを解除してください。
- ほかのコマの消去する場合：再生モード(➡P48)で消去するコマを選び、再び消去モードに戻って操作してください。

＊なお、[⚠PROTECT]表示時にモードダイアル以外のキーを操作すると誤作動の原因となりますので、ご注意ください。

1 コマ消去をやめるには

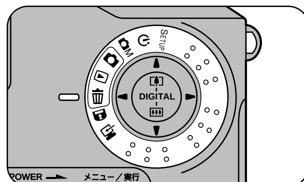
手順 4 で〈メニュー/実行〉キーを押す前に、〈▼〉キーを押します。

5 引き続き別のコマを消去する場合は、手順 2 からの操作を繰り返す

全コマ消去

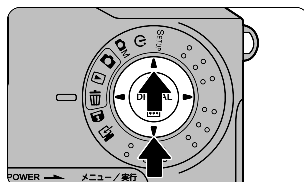
スマートメディアのプロテクト(画像の保護、➡P82)していないコマ全部が消去されます。

1 モードダイヤルを[🗑]にする

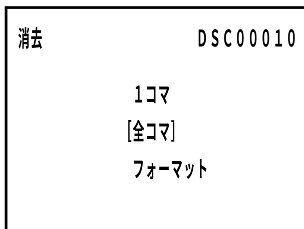


● メニュー画面が表示されます。

2 〈▲〉〈▼〉キーで[全コマ]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す



● 実行確認画面が表示されます。



3 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 画像が消去されて、メニュー画面に戻ります。



全コマ消去をやめるには

手順３で〈メニュー/実行〉キーを押す前に、〈▼〉キーを押します。

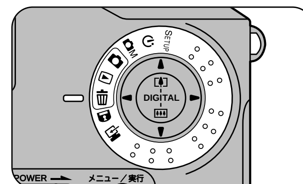
フォーマット(初期化)

スマートメディアのプロテクト(画像の保護、➡P82)しているコマを含む全てのコマが消去され、フォーマット(初期化)されます。

ご注意

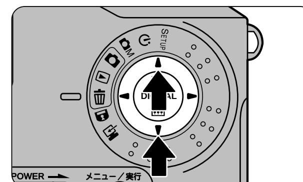
スマートメディアのフォーマットは、必ずこのカメラで行ってください。

1 モードダイヤルを[🗑]にする

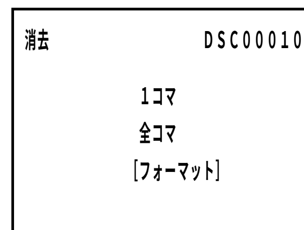


● メニュー画面が表示されます。

2 〈▲〉〈▼〉キーで[フォーマット]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す



● 実行確認画面が表示されます。



3 〈メニュー/実行〉キーを押す

● スマートメディアがフォーマットされて、メニュー画面に戻ります。再生コマ番号が[00000000]になります。



フォーマットをやめるには

手順３で〈メニュー/実行〉キーを押す前に、〈▼〉キーを押します。

基本編

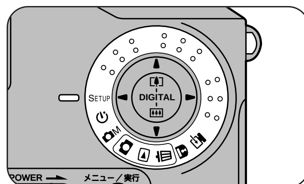
SETUP セットアップ

［SETUP］では、以下の 9 つの設定ができます。◆印は初期設定です。

1. クオリティー(画質)
2. ピクセル(画素数)
3. シャープネス
4. カラー
5. コマ No.メモリー
6. ビープ♪(ブザー音)
7. カスタム設定
8. 日時(日付・時刻を合わせる)
9. リセット

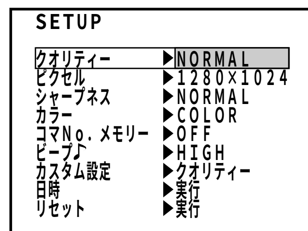
1 モードダイヤルを［SETUP］にする

● [SETUP]画面が表示されます。

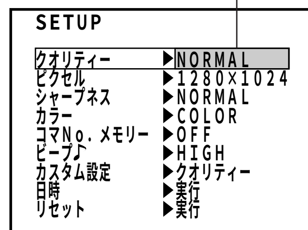


2 〈▲〉〈▼〉キーで変更したい項目を選ぶ

● カーソル[ ]が移動します。



(例)クオリティーの設定 Ⓐ



3 〈◄〉〈►〉キーで設定を変更する

● 押すごとに Ⓐ の設定内容が切り換わります。
● [日時]、[リセット]で〈メニュー/実行〉キーを押すと、それぞれの設定画面になります。
● 環境状況や目的に合わせ、設定内容を選びます。

設定を決定するには

モードダイヤルを切り換えます。

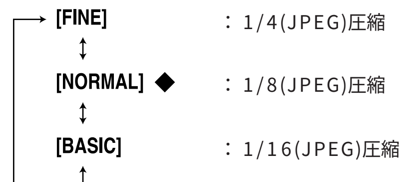
ご注意

設定を決定する前に、バッテリーや AC パワーアダプターを取り外すと、設定前の状態に戻ります。

クオリティー(画質)

撮影の目的に合わせて、3 種類の画質(記録画像の圧縮率)を選べます。画質によって撮影可能コマ数(➡P94)が変わります。設定に合わせて、液晶表示パネルにも[FINE]、[NORMAL]、[BASIC]が表示されます。
画質を優先する場合は[FINE]を、コマ数を優先する場合は[BASIC]を選んでください。

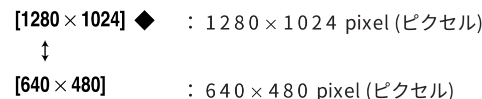
[液晶モニターの表示の順番]



ピクセル(画素数)

撮影の目的に合わせて、2 種類の画素数を選べます。画素数によって撮影可能コマ数(➡P94)が変わります。設定に合わせて、液晶表示パネルにも[1280]、[640]が表示されます。

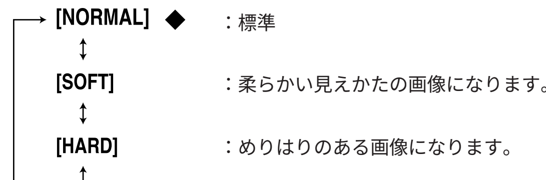
[液晶モニターの表示の順番]



シャープネス

被写体の輪郭を強調したり、画像のめりはり感を変えることができます。

[液晶モニターの表示の順番]

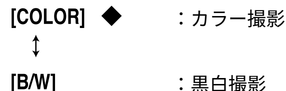


応用編

カラー

画像をカラーで記録するか、黒白で記録するかを選べます。黒白撮影は、文書をメモ代わりに撮影するときや、モノクロの被写体などを撮影するときに適しています。黒白に設定すると、液晶表示パネルに[B/W]が表示されます。

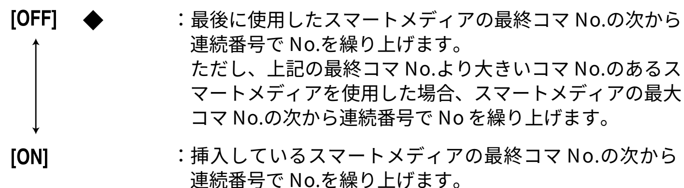
[液晶モニターの表示の順番]



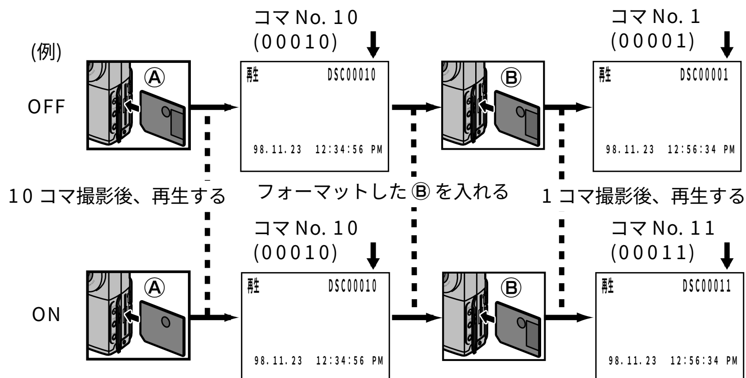
コマNo.メモリー

記録画像のコマNo.(ファイルNo.)の繰り上げかたを設定します。

[液晶モニターの表示の順番]



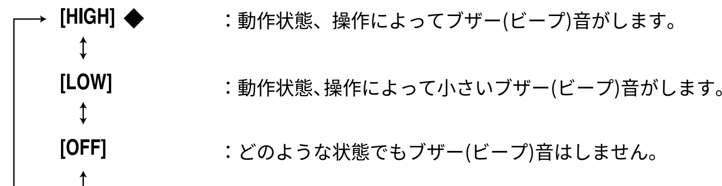
＊最大コマNo.は99999です。
＊99999に達した場合、［コマNo.メモリー］をOFFにして、新しいスマートメディアを入れてください。



ビープ♪(ブザー音)

撮影場所によって、3種類のブザー(ビープ)音の大きさを選べます。静かな場所などでの撮影時に設定してください。

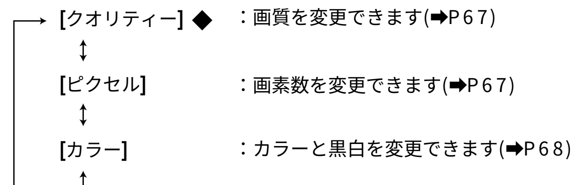
[液晶モニターの表示の順番]



カスタム設定

カスタム設定をしておくと、撮影時に〈カスタム〉キーを押すだけで、［SETUP］のカスタム設定で設定した機能の設定内容に変えて撮影できます(➡P42)。

[液晶モニターの表示の順番]

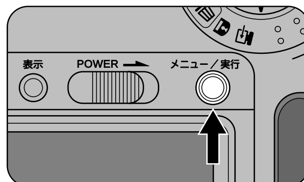


応用編

日時(日付・時刻を合わせる)

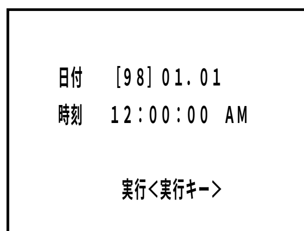
年月日・時間を設定します。バッテリー交換などで、バッテリーを取り出したまま5分以上放置した場合は、日付・時刻は初期値(98.01.01 12:00:00 AM)に戻ります。日付・時刻を設定し直してください。
日付：オートカレンダー(西暦年の下2桁表示)
時刻：12時間方式(正午は12:00:00 PM)

1 [SETUP]画面で[日時]を選択し、〈メニュー/実行〉キーを押す



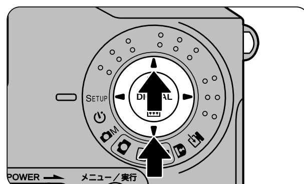
2 〈►〉キーを押して、設定したい数字を点滅させる

● 〈►〉キーを押すと、年→月→日→時→分→秒の順に点滅します。



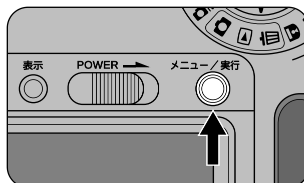
3 〈▲〉〈▼〉キーを押して数字を設定する

● 秒表示中に〈▲〉〈▼〉キーを押すと、秒は[00]になります。



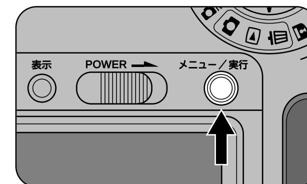
4 手順2と3を繰り返し、秒を設定したら、〈メニュー/実行〉キーを押す

● これで設定は完了です。



5 〈メニュー/実行〉キーを押す

● [SETUP] 画面に戻ります。



ご注意

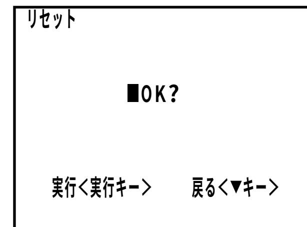
バッテリーが無い状態でACパワーアダプターを抜くと、日時の設定は初期値(98.01.01 12:00:00 AM)に戻ります。

リセット

[SETUP]の設定が初期設定(◆印)に戻ります。

1 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 設定がリセットされ、[SETUP] 画面に戻ります。



ノート

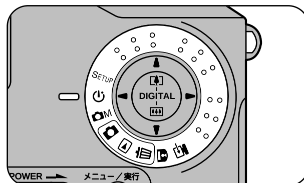
日時設定はリセットされません。

リセットをやめるには

〈▼〉キーを押します。[SETUP]画面に戻ります。

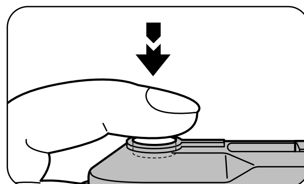
⏲ セルフタイマー撮影

1 モードダイヤルを[⏲]にする



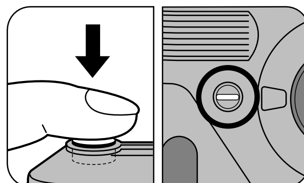
● セルフタイマー撮影モードになります。
液晶モニターに[セルフタイマー]表示が現れます。

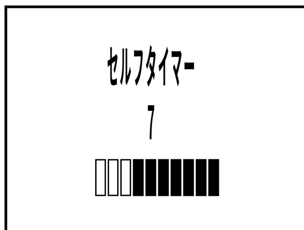
2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする



● カメラが自動的にピント、露出を合わせます。ピントが合うとファインダーランプが緑色点灯します。液晶モニターに[スタンバイ]が表示されます。

3 そのままシャッターボタンを全押しする





● カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯して、約10秒後(5秒間点灯後、5秒間点滅、3秒前からブザー音)にシャッターが切れます。
● 液晶モニターに画像を表示している場合は、液晶モニターにカウントダウン表示が表示されます。
液晶モニターに画像を表示していない場合は、液晶表示パネルの撮影可能コマ数表示でカウントダウンします。
● セルフタイマー動作中は、ファインダーランプが橙色点灯します。

セルフタイマーを途中で止めるには

モードダイヤルを[⏲]以外にします。

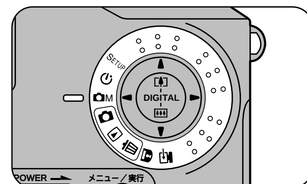
📷M マニュアル撮影

撮影した画像を液晶モニター(またはテレビ)で確認し、その画像をスマートメディアに記録するか記録しないかを選択できます。
白バランス設定、明るさ設定(露出補正)、ストロボの明るさ設定、マルチ REC 設定ができます。

ご注意

各種設定は一度電源を切ると、初期設定に戻ります。

1 モードダイヤルを[📷M]にする

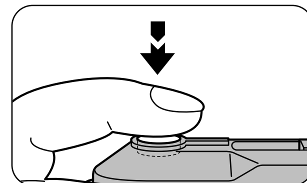


● 各種設定をする場合は、P75～81をご覧ください。

ノート

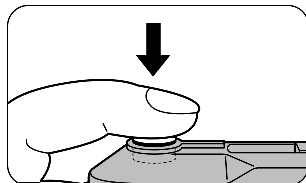
〈表示〉キーを押すと、液晶モニターにスルー動画(撮影前の画像)が表示されます。

2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする



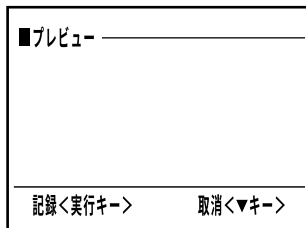
● カメラが自動的にピント、露出を合わせます。ピントが合うと、ファインダーランプが緑色点灯します。液晶モニターに[スタンバイ]が表示されます。
ファインダーランプが緑色点滅をする場合は、P35をご覧ください。

3 そのままシャッターボタンを全押しする

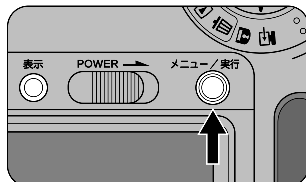


● ブザー音が鳴り、液晶モニターにプレビュー画(撮影された静止画)が表示されます。
ファインダーランプが橙色点灯します。

● スマートメディアに記録しない場合は、〈▼〉キーを押します。スルー動画に戻ります。



4 〈メニュー/実行〉キーを押す



● 画像データをスマートメディアへ記録中は、ファインダーランプが橙色点灯します。橙色点灯中は、撮影できません。

● 記録が終わると、ブザー音が鳴り、撮影可能コマ数が 1 コマ減ります。

ご注意

記録中または読み出し中は、絶対にスマートメディアを取り出さないでください。カードまたはカードのデータが壊れることがあります。

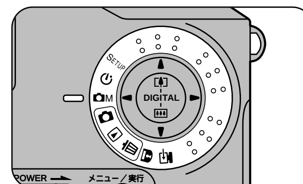
白バランス設定

白バランスの設定には屋外、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、電球の 5 種類があります。通常は屋外のままで撮影します。その他の設定は、日陰や特定の照明光に固定したいときに使用します。

ノート

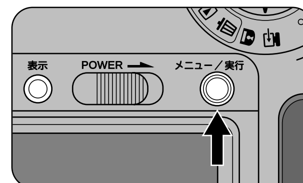
- 初期設定は[☀] (屋外)です。
- ストロボ発光時にはこの設定は働きません。

1 モードダイヤルを[M]にする



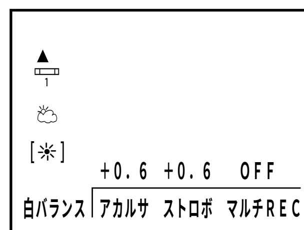
● 液晶モニターが消えているときは〈表示〉キーを押してください。

2 〈メニュー/実行〉キーを押す



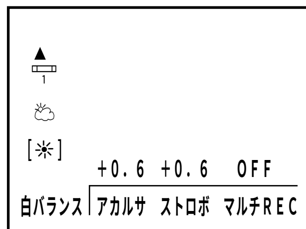
● メニュー画面が表示されます。

3 〈◄〉〈►〉キーで[白バランス]を選ぶ



4 〈▲〉〈▼〉キーで白バランスを設定する

[☀]： 屋外撮影(天候が晴れている場合)
[⛅]： 日陰撮影(日陰で撮影する場合)
[1]： 昼光色下撮影(蛍光灯が青みがかった場合)
[2]： 昼白色下撮影(蛍光灯が赤みがかった場合)
[☼]： 電球下撮影



5 〈◄〉〈►〉キーを押して設定を決定する

● 〈メニュー/実行〉キーを押すと、元の画面に戻ります。

白バランスとは

人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行って初めて、白い被写体は白に見えます。この調整を白バランス(ホワイトバランス)を合わせるといいます。

明るさ設定(露出補正)

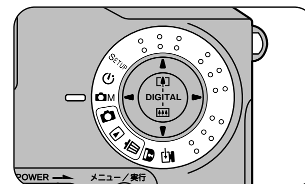
被写体と背景のコントラスト(明暗の差)がきわめて大きい場合や撮影したい被写体が画面内で極端に小さい場合など、適正な明るさ(露出)が得られないときに使用します。

ノート

- 初期設定は[0]です。
- スルー動画(撮影前の動画)では明るさは変化しません。シャッターボタンを押して、プレビュー画(撮影された静止画)で明るさを確認してください。

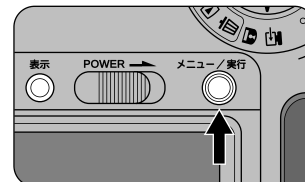
1 モードダイヤルを[📷M]にする

● 液晶モニターが消えているときは〈表示〉キーを押してください。

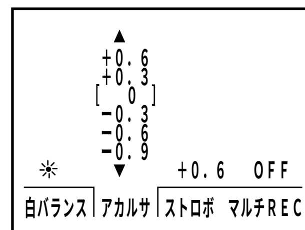


2 〈メニュー/実行〉キーを押す

● メニュー画面が表示されます。

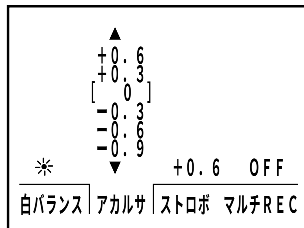


3 〈◄〉〈►〉キーで[アカルサ]を選ぶ



4 〈▲〉〈▼〉キーで明るさ(露出補正)を設定する

〈▲〉：明るくする
〈▼〉：暗くする
● 補正範囲は 9 段(− 0.9 ～ +1.5 EV、約 0.3 EV ステップ刻み)です。



ご注意

撮影状況が暗いと、〈▲〉キーを押しても明るくならない場合があります。

5 〈◄〉〈►〉キーを押して設定を決定する

●〈メニュー/実行〉キーを押すと、元の画面に戻ります。

ノート

設定した明るさ(露出補正)は〈◄〉〈►〉キーを押すと、液晶表示パネルの撮影可能コマ数表示で確認できます(たとえば− 0.9 のときは -o9)。キーから指を離すと元のコマ数表示に戻ります。

露出補正について

カメラの AE(自動露出制御)機能では、撮影する画像の明るさ(階調)を平均したときに灰色(中間階調)になるようにシャッタースピードと絞りを設定します。こうすることで、ローキー(暗すぎ)やハイキー(明るすぎ)を防げます。しかし、実際の景色では、全体的に明るかったり、全体的に暗い景色もあります。このような場合に AE でそのまま撮影してしまうと、イメージどおりには写りません。見たとおりのイメージに近い画像が記録されるように、露出補正を行います。
露出補正の必要な場合は次のとおりです。

＋(プラス)補正

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写(+1.5EV)
- 逆光のポートレート(人物撮影)(+0.6 ～ +1.5EV)
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合(+0.9EV)
- 画面内を空の部分が大きく占める場合(+0.9EV)

−(マイナス)補正

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合(− 0.6EV)
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写(− 0.6EV)
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合(− 0.6EV)

ストロボ補正設定

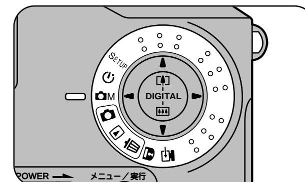
被写体が画面内で極端に小さい場合や、花や名刺の撮影のように近距離でストロボ撮影する場合など、適正な明るさにならないときに使います。

ノート

- 初期設定は[0]です。
- シャッターボタンを押して、プレビュー画(撮影された静止画)でストロボの明るさを確認してください。

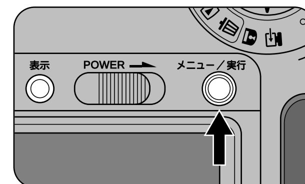
1 モードダイヤルを[📷M]にする

● 液晶モニターが消えているときは〈表示〉キーを押してください。

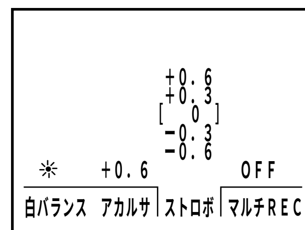


2 〈メニュー/実行〉キーを押す

● メニュー画面が表示されます。



3 〈◄〉〈►〉キーで[ストロボ]を選ぶ

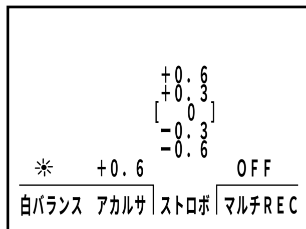


応用編

4 〈▲〉〈▼〉キーでストロボの明るさを設定する

〈▲〉：明るくする
〈▼〉：暗くする

● 補正範囲は±５段(－0.6～+0.6 EV、約 0.3 EV ステップ刻み)です。



ご注意

撮影状況が暗かったり、被写体が遠すぎると、〈▲〉キーを押しても明るくならない場合があります。

5 〈◄〉〈►〉キーを押して設定を決定する

●〈メニュー/実行〉キーを押すと、元の画面に戻ります。

マルチ REC(連続撮影)

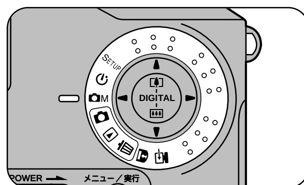
マルチ REC を設定すると、被写体を 16 枚連続して撮ることができます。連続撮影の速さを 2 段階設定できます。ゴルフのスイングチェックなどスポーツ撮影などでお使いください。

ノート

初期設定は[OFF]です。

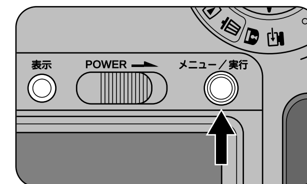
1 モードダイヤルを[M]にする

● 液晶モニターが消えているときは、〈表示〉キーを押してください。



2 〈メニュー/実行〉キーを押す

● メニュー画面が表示されます。

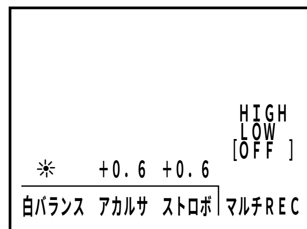


3 〈◄〉〈►〉キーで[マルチ REC]を選ぶ



4 〈▲〉〈▼〉キーで連続撮影の速さを設定する

[HIGH]　：約 2 秒間に 16 枚連続で撮影します。
[LOW]　：約 4 秒間に 16 枚連続で撮影します。
[OFF]　：連続撮影しません。



5 〈◄〉〈►〉キーを押して設定を決定する

●〈メニュー/実行〉キーを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

マルチ REC では、ストロボが発光禁止になります。ストロボ発光(強制発光、赤目軽減)およびストロボ補正は、液晶表示パネルに表示されていても動作しません。

プロテクト(画像を保護する)

画像を誤って消去しないように、読み出し専用(リードオンリー)データにします。

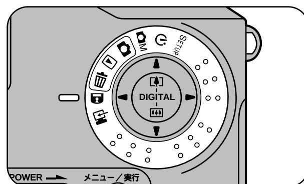
ご注意

- **読み出し専用データは、スマートメディアのフォーマット(初期化)を行うと消去されます(➡P65)。**
- **スマートメディア全体をプロテクトするには「誤記録防止について」(➡P28)をご覧ください。**
- **読み出し専用データは、別売のフジフイルム ビデオ/デジタルプリンター TX-7 では、スマートメディアの指定コマプリントモードで、選択画像として扱われます。詳しくは、TX-7 の使用説明書をご覧ください。**

1コマプロテクト

1 モードダイヤルを[]にする

● メニュー画面が表示されます。



2 〈▲〉〈▼〉キーで[1コマ]を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す



3 〈◄〉〈►〉キーでプロテクトする画像を選び、〈メニュー/実行〉キーを押す

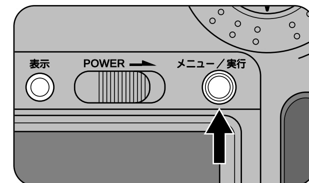
●〈表示〉キーを押して、9画面マルチ再生時と同様の操作でも選択できます(➡P35, 59)。
● 再生コマが読み取り専用データになり、コマNo.に[]が付きます。



1コマプロテクトを解除するには

1 プロテクトしたコマで、〈メニュー/実行〉キーを押す

● []が消えます。

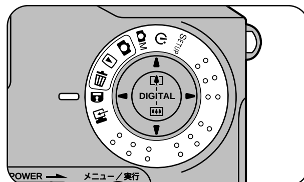


全コマプロテクト解除

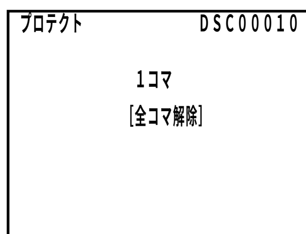
プロテクトされている全てのコマをプロテクト解除します。

1 モードダイヤルを[ ]にする

● メニュー画面が表示されます。

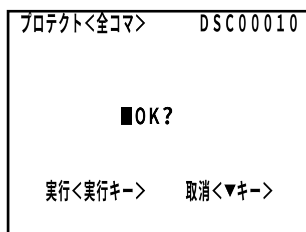


2 〈▲〉〈▼〉キーで[全コマ解除]を選ぶ



3 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 実行確認画面が表示されます。

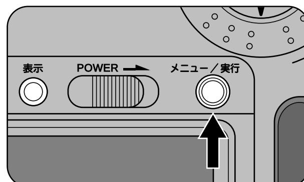


全コマプロテクト解除をやめるには

〈▼〉キーを押します。メニュー画面に戻ります。

4 〈メニュー/実行〉キーを押す

● 全てのコマのプロテクトが解除され、メニュー画面に戻ります。



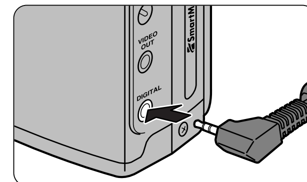
PC モード(パソコンに画像を取り込む)

カメラとパソコンを専用ケーブルで接続して、画像データ送受信またはパソコンからの撮影指示ができます。
別売のインターフェースセット IF-CL/W3 (Windows95/Windows NT 4.0 用)、IF-CL/M3 (Macintosh 用)が必要です(専用接続ケーブル、アプリケーションソフト付き)(➡P89)。
電池消耗による伝送の中断をさけるため、付属の AC パワーアダプター AC-5V をご使用ください。

ご注意

- **機器の接続を行うときは、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。**
- **接続の前に、ご使用のパソコンにソフトウェアをインストールしてください。**

1 カメラの電源を切り、専用接続ケーブルのプラグをカメラの DIGITAL 端子に接続する



ご注意

専用接続ケーブル以外のプラグ類を接続しないでください。故障の原因となることがあります。また、プラグが完全に差し込まれていることを確認してください。

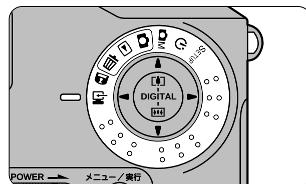
2 専用接続ケーブルをパソコンに接続する

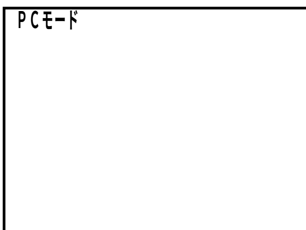
Windows ：シリアルポート(RS-232C)
Macintosh ：モデムまたはプリンタポート(RS-422)

3 パソコンの電源を入れる

4 カメラの電源を入れ、モードダイヤルを[ ]にする

● 液晶モニターに[PC モード]と表示されます。以降の操作はパソコン側から行います。
●〈表示〉キーを押すと通信速度が表示されます。
● 詳しくは、インターフェースセットに付属の説明書をお読みください。





ご注意

- ファインピックス700とやりとりできる画像データは、ファイル名が「DSC00001.JPG～DSC99999.JPG」(Exif-JPEG 形式)のファイルに限られます。
- PC モード時は、オートパワーオフ機能は働きません。
- データ通信中に電源が切れると、画像データの正常な受け渡しができません。
- PC モードでの操作後、他のモードで操作する場合は、一度カメラの電源を切ってから他のモードに移り、電源を入れてください。

ノート

フロッピーディスクアダプター(別売)や、PC カードアダプター(別売)をご使用の場合は、それぞれの使用説明書をご覧ください。

スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- スマートメディアの初期化はカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラで初期化すると自動的にフォルダー(ディレクトリ)［IMFIDX10］が作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
  パソコンでスマートメディアのフォルダー(ディレクトリ)名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。
- パソコンからスマートメディアに画像データを記録する場合は、別売のインターフェースセットに付属の弊社製ソフトウェア Data Transfer Software PICTURE SHUTTLE をご使用ください。
  詳しくは、弊社製ソフトウェアに付属の使用説明書をご覧ください。

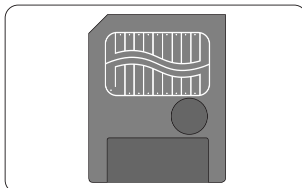
別売アクセサリーの紹介

オプション(別売)のアクセサリーを使うと、さらに便利な撮影／再生ができます。使いかたや、接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの使用説明書をご覧ください。

スマートメディア

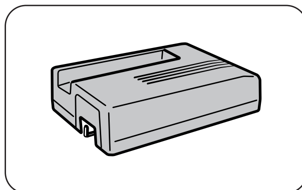
別売のスマートメディアです。
以下の 4 種類が使用できます。

- MG-2 （2MB、5V 動作）
- MG-4 （4MB、5V 動作）
- MG-4S（4MB、3.3V 動作）
- MG-8S（8MB、3.3V 動作）

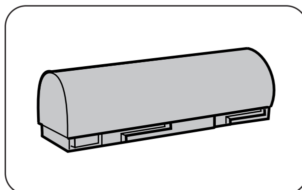


バッテリーチャージャー BC-100

充電式バッテリーを短時間で充電します。充電時間は約 2 時間 30 分です。



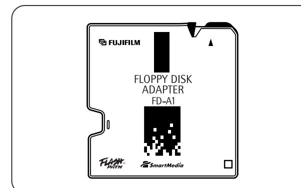
充電式バッテリー NP-100



ソフトケース SC-FX7

カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します(牛革製)。

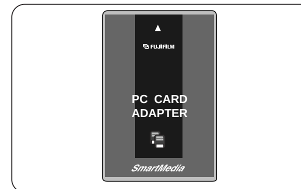
フロッピーディスクアダプター FD-A1(FlashPath:フラッシュパス)



通常の 3.5 インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブに差し込むだけで、スマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

●フロッピーディスクアダプター FD-A1
対応 OS
- Windows 95 / IBM PC/AT 互換機
- Windows 95 OSR2 / NEC PC-9821

PC カードアダプター PC-AD2



スマートメディアを PC Card Standard ATA (PCMCIA2.1/JEIDA4.2)に準拠した PC カード(TYPE II)として使えます。
3.3V/5V 動作のスマートメディアでご使用になれます。
アプリケーションソフト(CD-ROM、使用説明書)が付属しています。

インターフェースセット IF-CL

Windows、Macintosh と画像データのやりとりができるようになります(専用接続ケーブル、アプリケーションソフト付き)。

- Windows 95/Windows NT 4.0 用：IF-CL/W3
- Macintosh 用 ：IF-CL/M3

正しくお使いいただくためのご注意

「安全上のご注意」(➡P3)をあわせて必ずお読みの上、正しくご使用ください。

●避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- 振動のはげしいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ(モーター、トランス、磁石のそばなど)
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

●砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。

●結露(つゆつき)にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなどに、本機内部やレンズなどに水滴がつく(結露)ことがあります。このようなときは電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

●長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、スマートメディアを取り外して保管してください。

●カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面や光学ファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- 液晶モニターの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
- カメラ本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●海外で使うとき

- **このカメラは国内仕様です。**付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のサービス窓口にご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

警告表示

●液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	状態	警告内容
	点滅	カメラのバッテリーの容量が少ない(➡P25)。
⚠ NO CARD	⚠ 点滅	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている(➡P30)。
⚠ CARD NOT INITIALIZED	⚠ 点滅	スマートメディアがフォーマットされていない(➡P65)。
⚠ CARD ERROR	⚠ 点滅	スマートメディアが壊れている。 スマートメディアのフォーマットが異常。
⚠ CARD FULL	⚠ 点滅	スマートメディアの全コマ(フレーム)に記録されている。
⚠ FILE No. FULL	⚠ 点滅	コマ No.が 99999 に達している。
⚠ PROTECTED CARD	⚠ 点滅	スマートメディアが誤記録防止状態になっている(➡P28)。
⚠ FRAME ERROR	⚠ 点滅	正常に記録されていないデータを再生した。
⚠ PROTECT	⚠ 点滅	プロテクトされたコマを消去しようとした(➡P63)。
⚠ UNMATCHED DATA	⚠ 点滅	カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。 記録/再生/消去/コピー中にカードを取り出した。
	点滅	ストロボが発光禁止に設定されている状態での撮影で、シャッター速度が遅く手ブレを発生しやすい状態(➡P47)。
⚠ AF	⚠ 点滅	被写体のコントラスト(明暗の差)が極端に低いなどで、AF(オートフォーカス)がうまく働かない(➡P33)。

●液晶表示パネルの撮影可能コマ数が[Err]で、ファインダーランプが赤色点滅しているとき、または液晶モニターに[SYSTEM ERROR]が表示されたときは、電源を取り外して約1時間放置してから再び電源を入れ直してください。それでも正常に動作しないときは、お買上げ店またはお近くのフジサービスステーションに修理をご依頼ください。

故障とお考えになる前に

● 故障と思う前に、もう一度お調べください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	• 電池が消耗している。 • AC パワーアダプターがコンセントから外れている。 • モードダイヤルが正しくセットされていない。	• 本体を使って充電する。 • 新しいバッテリーと交換する。 • 電源プラグをコンセントに差し込む。 • 正しくセットする。
電源が途中で切れる。	• 電池が消耗している。	• 本体を使って充電する。 • 新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで使っている。 • 端子が汚れている。	• バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 • バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふく。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	• スマートメディアが入っていない。 • スマートメディアが表裏、または前後逆に入っている。 • スマートメディアの全コマ(フレーム)に記録されている。 • スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 • スマートメディアがフォーマットされていない。 • スマートメディアが壊れている。 • オートパワーオフになり、電源が入っていない。 • バッテリーが消耗している。	• スマートメディアを入れる。 • スマートメディアを正しい向きに入れる。 • 新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 • 誤記録防止状態を解除する。 • フォーマットする。 • 新しいスマートメディアを入れる。 • 電源を入れる。 • 新しいバッテリーと交換する。 • 本体を使って充電する。

症状	原因	処置
シャッターボタンを押しても撮影できない。	• モードダイヤルの位置がずれている。	• モードダイヤルを正しい位置にする。
ストロボ撮影できない。	• ストロボが発光禁止になっている。 • 充電中にシャッターボタンを押した。	• ストロボ自動、赤目軽減または強制発光にする。 • 充電が完了してからシャッターを押す。
ストロボの充電ができない。	• 記録できるスマートメディアが入っていない。 • ストロボ発光禁止モードになっている。 • バッテリーが消耗している。	• 新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 • ストロボ自動、赤目軽減または強制発光にする。 • 新しいバッテリーと取り換える。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	• 被写体が遠い。	• 被写体に近づく。
再生画像がぼやけている。	• レンズが汚れている。	• レンズを清掃する。
スマートメディアのフォーマットができない。	• スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	• 誤記録防止状態を解除する。
全コマの消去ができない。	• コマがプロテクトされている。	• プロテクトを解除する。
カメラのボタンやスイッチを操作しても作動しない。	• カメラの誤作動。	• 〈POWER〉スイッチを入れ直す。 • バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。

主な仕様

システム

型式	デジタルカメラ
記録メディア	スマートメディア(3.3V／5V)
最低撮影可能コマ数	

画質モード	画像圧縮率	1コマのデータサイズ*	MG-2 (2MB)	MG-4/4S (4MB)	MG-8S (8MB)
FINE	1/4	約650KB	2	5	11
		約150KB	11	23	47
NORMAL	1/8	約325KB	5	11	22
		約75KB	21	43	87
BASIC	1/16	約160KB	11	22	44
		約38KB	38	77	155

* 上段：1280×1024 pixel
下段：640×480 pixel

記録方式	JPEG準拠(Exif Ver.2.0)
水平解像度	400本以上、フレーム記録
取り込み画素数	1280×1024/640×480 pixel
撮像素子	1/2インチ正方画素インターライン方式CCD 総画素数：約150万
撮像感度	ISO100相当
レンズ	フジノン単焦点レンズ F3.2/F8
焦点距離	7.6mm(35mmカメラ換算35mm相当)
ファインダー	逆実像式光学ファインダー：約80％
露出制御	TTL64分割測光、プログラムAE(マニュアル撮影時、露出補正可能)
ホワイトバランス	5500K固定(マニュアル撮影時、選択可能)
撮影可能範囲	標準：約50cm～無限遠 マクロ：約9～50cm
電子シャッター	可変速　1/4～1/1000秒
絞り	F3.2/F8自動切り換え
セルフタイマー	タイマー時間約10秒
消去方式	1コマ消去・全コマ消去・フォーマット(初期化)
液晶モニター	2型　低温ポリシリコンTFT11万画素
ストロボ	調光センサーによるオートストロボ 撮影可能距離：約0.3～2.5 m 発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止

入・出力端子

VIDEO出力端子	ミニ(φ3.5mm)ピンジャック（1）　1Vp-p 75Ω　不平衡同期負
DIGITAL (RS-232C、RS-422)端子	ステレオミニミニ(φ2.5mm)ジャック(1) パソコンとの画像データおよび操作の送受信
DC入力端子	専用ACパワーアダプターAC-5V接続

電源部、その他

電源	充電式バッテリーNP-100(付属または別売) または専用ACパワーアダプターAC-5V(付属)使用
撮影可能コマ数	25ページをご覧ください。
使用条件	温度0℃～＋40℃ 湿度80%以下(結露しないこと)
本体外形寸法	80×101×33mm(幅／高さ／奥行き) (付属品、突起部含まず)
本体質量	約245g(付属品、バッテリー、スマートメディア含まず)
撮影時質量	約295g(バッテリー、スマートメディア含む)
付属品	13ページをご覧ください。
別売アクセサリー	88ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
　使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

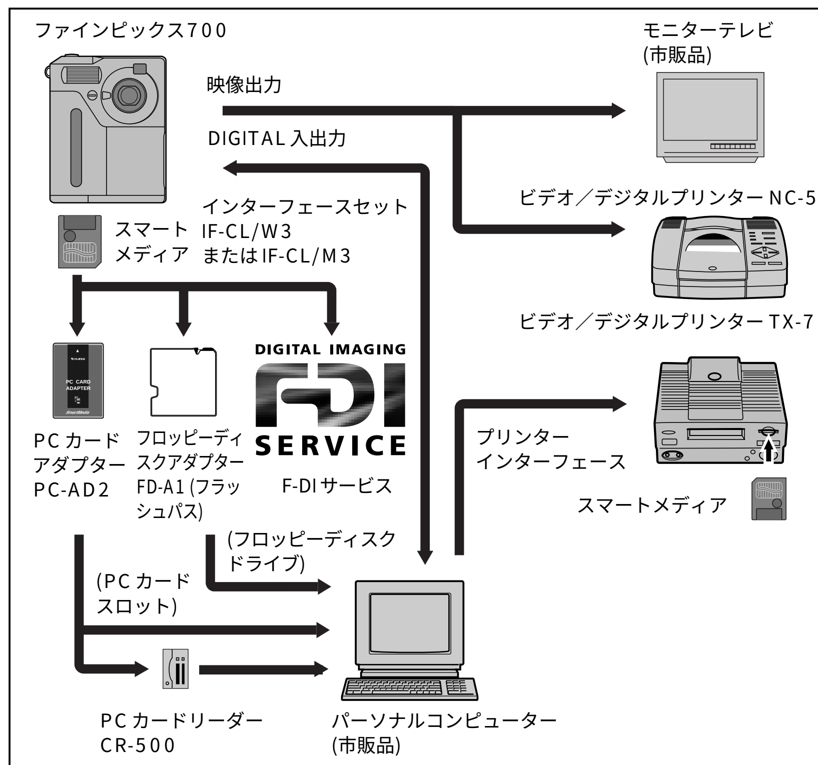
DIGITAL IMAGING F-DI SERVICE

F-DIデジタルカメラプリントサービス

F-DI対応のデジタルカメラで撮影したスマートメディアをF-DIマークのお店に持って行くだけで通常の写真と同様の高品質なプリントができるサービスです(プリントは後日受け付け店にてお渡しします)。
＊対応メディア：スマートメディア、PCカード(PCMCIA準拠　TYPE Ⅰ/Ⅱ)
＊対応画像フォーマット：Exif(JPEG準拠)

システムアップ機器

別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。



アフターサービスについて

●保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より 1 年間です。

●アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ

お買上げ店、またはフジサービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後８年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預かりしてから通常 7 〜 14 日位をご予定ください。

＊ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
■型名：ファインピックス700　■故障の状況：できるだけ詳しく　■ご購入年月日

索引

その他